

第五十九回帝國議會
衆議院

米穀法中改正法律案外一件委員會會議錄(速)第十回

付託議案
米穀法中改正法律案(政府提出)
米穀需給調節特別會計法中改正法律案
(政府提出)

會議

昭和六年二月二十五日(水曜日)午後一時四十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 西村丹治郎君

理事 長野 綱良君

理事 關矢 孫一君

理事 風見 章君

理事 東郷 實君

理事 胎中楠右衛門君

佐竹 庄七君 高橋壽太郎君

村上 國吉君 宮澤 胤勇君

松田 正一君 田中 養達君

平野 鍋吉君 三田村甚三郎君

谷原 公君 出井 兵吉君

片野 重脩君 東 武君

松山常次郎君 平井信四郎君

清家吉次郎君 石井 次郎君

同日委員篠田有德君及北原阿智之助君

辭任ニ付其ノ補闕トシテ平野鍋吉君及

谷原公君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 町田 忠治君

出席政府委員左ノ如シ

農林參與官 山田 道見君

農林省農務局長 石黑 忠篤君

拓務省殖產局長 殖田 俊吉君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

農林技師 安藤廣太郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

米穀法中改正法律案(政府提出)

米穀需給調節特別會計法中改正法律案(政府提出)

○西村委員長 ソレデハ是ヨリ會議ヲ開キマス

○東郷委員 農林大臣ガ御差支ノヤウ

デスカラ、御見エニナルマデ政府委員ニ

御尋致シマス、昨日第二次ノ米ノ御買

上ニ付テ御尋申上ゲマシテ色々御答

辯ヲ得マシタガ實ハモウ少シ色々

トヲ御尋シヨウト思ヒマシタケレド

モ、丁度昨日ガ申込締切ノ最終日ト思

ヒマシテ差控ヘテ居ラタノデス、所ガ昨

晚此委員會ガ濟ンデ家ニ歸リマスト、

色々方面カラ電報ガ參ッテ居リマシ

タ、是ハ他ノ諸君ニモ來テ居ルコト、

思ヒマスガ、其中デ奈良縣カラ參ッ

電報ノ一ツニ斯ウ云フ電報ガアリマ

ス、今同政府買上米價格ハ農業者ヲ無

視シタル安キ價格ナル爲、本縣ハ一俵

モ應募者ナシ、近畿各府縣トモ怨嗟ノ

聲高シ、今後ノ米價根本對策ニ付、委

員會ニ於テ特ニ御盡力ヲ乞フ」ト斯ウ

云フヤウナ電報ガ奈良縣ノ或ル人カラ

參ッテ居リマスガ、昨日私達ガ非常ニ懸

念致シタ心配ガ事實ニ於テ地方デモ實

現サレテ居ルヤウナコトニナッタト思

ヒマス、是ハ間違ノナイ事實ヲ其儘電

報デ知ラセ、且ツ丁度委員會ガ開ケテ

居ルノデ、委員會モ將來大ニ慎重ニ考

ヘテ吳レト云フ國民ノ聲ダト存ジマ

ス、ソコデ今朝ノ新聞アタリニモ色々

ノ模様ヲ散見スルコトガ出來ルノデス

ガ、昨日ハ締切日デアリマシタシ、政

府ニハ既ニ其結果ガ御分リニナッテ居

ルコト、思ヒマス、丁度此機會ガ好イ

ト思ヒマスカラ、政府委員カラ御示ヲ

願ヒタイト思ヒマス

○石黑政府委員 只今御尋ノ第二次ノ

百萬石ノ買上デゴザイマスルガ、御話

ノ通りニ締切決定ノ日ガ過ギタノデア

リマス、ソレデ只今其結果ヲ集計致シ

マシテ刷ッテ參ッタノガ此處ニゴザイマ

ス、詳シイコトハ表ヲ御覽ヲ願フコト

ニ致シテ、私ハ統計ノ大體ノコトヲ申

上デヨウト思ヒマス、第二次ノ買上ノ

成績ハ百萬石ノ買上ニ對シマシテ七十

四萬三千三百七十石デゴザイマス、即

チ七割四分三厘ト云フ買上決定ノ數量

ニ達シテ居リマス、御承知ノ通り是ハ

府縣割當デ買上ゲマシタノデ、各府縣

ニ付テ、買上ノ割當數量ト決定數量ト

ニ依ッテ、茲ニ表ニシテアリマスカラ、

府縣別ニハ此表ヲ御覽願ヒタイト思ヒ

マス

○東郷委員 只今表ヲ配付シテ戴キマ

シタガ、マダ能ク見マセヌノデ疑問ノ

點ナンカラ御尋スルノニ或ハ間違フカ

モ知レマセヌガ、大摺ミノ所ニモウ少

シ疑問ガアリマスカラ御尋致シマス、

今回ハ豫定ニ對シテ申込決定ガ七割四

分三厘、斯ウ云フ成績ダト云フコトデ

スガ、第一次ノ買上ノ場合ノ豫定ト申

込ノ率ハドウナッテ居リマスカ

○石黑政府委員 總計ニ於テ二百萬石

ニ對シマシテ百九十四萬石ト云フコト

ニナッテ居リマス

○東郷委員 第一次ノ場合ニ於テノ成

績ハ豫定ニ對シテ殆ド九割七分、先ヅ

豫定ニ近イ申込ガアッタ譯デス、然ルニ

今回ハ餘程成績ガ悪ク、七割四分三厘

ニシカ達シナイ、斯ウ云フコトハ何處

ニ原因ガアリマセウ、昨日モ極ク地方

的ノ一二ノ例ヲ申上ゲテ買上價格ガ地

方相場ニ比較シテ安過ギル、ソコデ非

常ニ不利益ダ斯ウ云フコトガアルヤウ

ダガト云フコトヲ申上ゲテ政府ノ御説

明ヲ願フタンデスガ、配付ニナク表ヲ見マシテモ各縣別ノ率ハ分リマセヌケレドモ、非常ナ不成績ナ所ガアル、私ガ先程電報ヲ讀上ゲマシタ奈良ヲ始メトシテ京都ソレカラ德島ナシカト云フノハ一俵モ申込ガナイ、大阪ガ僅ニ二百八十俵、一萬八千五百二俵ニ對シテ百八十俵シカナイ、其外或ハ高知縣ハ四千二百三十七俵ニ對シテ僅ニ五十俵シカナイト云フヤウナ風デ此行詰ツタ農村、非常ニ經濟的ニ窮迫シテ憐シデ居ル農村デアリナガラ、政府ガ價格ノ調節ノ目的ヲ以テ御買上ゲニナル、此第二次ノ買上ニ對シテ一ツモ申込ガナイ、アツテモホンノ一部分ダト云フ結果ヲ見タト云フコトハ、ソコニ非常ニ重要ナ原因ガアルノデハナイカト思ヒマス、是ハ非常ニ重大ナ意義ヲ持ツテ居ルト思ヒマスカラシテ、其不成績デアッタ原因ヲモウ少シ御説明ヲ仰ギタイト思ヒマス

○石黒政府委員 第二次ノ買上ニ於キマシテモ第一次ノ買上ト同ジク米穀法ノ下ニ於ケル買入デアリマスルガ故ニ、時價ヲ以テ買上ゲ、其時價ハ買上同時ノ時價デアリマシテ、其場所ニ於ケル管轄區域内ノ各銘柄ノ間ノ格差ト云フモノモ大體ニ於テ從來ノ買上ト同ジ方法ヲ以テ決定致シテ、サウシテ買上價格ノ告知ヲ致シテ居ルト云フコト

ハ、昨日具體的ニ其ヤリ方ヲ御説明申上ゲタ通りノヤリ方デヤツテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ前回ノ買上ノ當時カラ見マスト云フト、極ク概括的ニ考ヘマシテ第二次ノ買上ノ場合ニ於キマシテハ先ヅ五十錢内外ノ時價ガ安クナツテ居リマスカラ、ソレニ順應シテ安思ヒマス、斯ウ云フヤウナコトデアリマスカラ、時價ノ關係ニ於キマシテハ別段違ツタ取扱ヲ致シテ居ルノデハアリマセヌ、而シテ買上ゲノ結果ガ斯ノ如ク前回ニ較ベマスルト云フト買入決定數量ガ七割四分デアッタト云フコトハ一々ノ縣ニ就イテ御覽ヲ戴クト分リマスルヤウニ大體ニ於テ從來餘リ多ク縣外ニ賣ツテ居リマセヌヤウナ縣ナドニ於キマシテハ、平常ノ年ヨリモ著シク餘計ノ數量ヲ政府ノ第一回ノ買上ノ時ニ於テ出サレテシマッタト云フヤウナコトカラ、第二回ノ買入ノ量ト云フモノガ割合ニ少ナカッタト云フヤウナコトデハナカラウカト考ヘマス、ソレト價格關係デハ前回ノ買入以後ニ於キマシテ、比較的ニ數量ガ縛ラレマシタ結果、產地高ノ狀況ヲ呈シテ居ルト云フヤウナコトノ結果、應募ヲシナカッタト云フ者モ相當アルノデハナカラウカト云フ風ニ考ヘルノデアリマス、買入豫定數量ノ割當ハ是ハ昨日モ申上ゲマ

シタガ、大體ニ於テ前回ト同ジヤウナ生産數量、縣外移出數量及ビ農家ノ販賣數量ト云フモノヲ基礎ト致シマシテ割當テタノデアリマス、唯第二次ニ於テ第一次ト違ヒマシタコトハ、前回ノ應募ノ成績カラ見マシテ著シク應募ノ成績ノ良クナカッタヤウナ所ハ相當ニ減額ヲ致シテ、之ヲ全體ニ振撒イテ居ルト云フヤウナ點ガ割當數量ノ上ニ於テ稍々違ツテ居ルノデアリマス

倉庫ヲ建設致サセマシテソレニ補助金ヲ與ヘタノデアリマス、其倉庫ヲ建設シタ主體ハ郡農會デゴザイマス、所ガ其結果ガ相當ニ宜シイノデ、是ナラバ朝鮮ニ於テモ農業倉庫ノ利用ガ行ハレルト云フコトヲ考ヘマシタノデ、詰リ米穀ノ常時對策ト致シマシテ多クノ米穀倉庫建設ヲ考ヘタ次第デアリマス、アノ常時對策中ニゴザイマス多數ノ所謂甲種倉庫ト申スノハ此農業倉庫ニ當ルモノデアリマシテ、之ヲ全鮮ニ普及スル考デ居ルノデゴザイマス、然ラバ内地ニ於テハ農業倉庫ノ成績ガサウ思フヤウニ行ツテ居ラヌガ、朝鮮ニ於テハ何カ内地ト違ツタ理由ガアツテ效果ガ大イニ舉ルノデアアルカト云フ御尋デアッタサウデアリマスガ、内地ト多少趣ヲ異ニスルヤウデアリマス、ソレハ昨日モ申上ゲテ置キマシタ如ク朝鮮ニ於テハ水利組合ガ非常ニ發達シテ居リマスノデ、米ガ生産地ニ於テモ集中スル傾向ガゴザイマスノデ、ソレ等ノ水利組合ニハ此米穀倉庫ヲ利用スルコトガ最も多カラウト思ヒマス、ノミナラズ實ハ朝鮮ノ農家ハ内地ノ農家ノ如ク自家用ノ倉庫ヲ持ツテ居ルコトガ少イノデアリマス、隨テ單ナル物的設備トシテモ此公共團體等ガ倉庫ヲ建設致シマスレバ、貯藏スル爲ノミニモ其倉庫ヲ利用スル者ハ内地ヨリ餘程多イト考ヘラレルノデ

○西村委員長 殖田政府委員ガアナタノ農業倉庫ニ關スル質問ガアツテ、ソレニマダ答ヘテ居リマセヌカラソレヲ答ヘルト云フコトデアリマス

○殖田政府委員 昨日朝鮮ノ農業倉庫ノコトニ付テ御尋ガアリマシタサウデアリマスガ、朝鮮デハマダ農業倉庫法ニ當リマスル法規ヲ施行致シテ居リマセヌ、隨テ内地ノ如キ意味ニ於キマスル、嚴格ナル意味ニ於キマスル制度トシテノ農業倉庫ハゴザイマセヌ、併シナガラ實際ト致シマシテハ一昨昭和四年度カラシテ農業倉庫ト云フモノヲ朝鮮ニモ一ツ造ツテ見タイト、サウ云フコトヲ試驗的ニ約三萬六千圓バカリノ豫算ヲ計上致シマシテ、農業倉庫ノ建設ニ對シテ補助ヲ與ヘマシタ、ソレハ忠清南道ニ一箇所、全羅北道ニ一箇所及ビ全羅南道ニ一箇所ノ三箇所、主ニ米ノ出來マス土地ニ三箇所總計約五百坪ノ

アリマス、隨テソレ等ノ意味合ヲ以チマシテ内地ヨリハ米穀倉庫或ハ農業倉庫ガ其能力ヲ發揮スルコトガ多カラウ、斯ウ考ヘテ當時對策トシテ多數ノ生産地ニ小倉庫ヲ建設スルコトヲ考ヘタ次第デアリマス

○東郷委員 只今ノ拓務省ノ政府委員ノ御話ハ其程度ニ伺ッテ置キマス、ナゼナレバマダ著手早々デアッテ、只今ノ御話ガ實現スルカシナイカ、今後ノ成績ヲ待ツ必要ガアラウト思ヒマスノデ、是以上御尋シテモ無理ダラウト思ヒマスカラ、是デ止メマス

元ヘ戻リマスガ、石黒政府委員ガ今回ノ買入ノ成績ノ比較的成績デアルト云フコトノ理由ヲ色々御述ベニナリマシタ、其中デ私一寸分リ兼ネル點ガアリマス、第一次ノ場合ニ今マデ比較的サウ云フコトノナカッタ所ガ餘計出シテシマッタヤウナ所モアルシ、ソレダカラ今回ハ非常ニ少クナッタト云フヤウナ御話ガアリマシタガ、其邊ガハッキリ分リマセヌデシタカラ、モウ一應御説明ヲ願ヒタイ

○石黒政府委員 先程申シタノハ東郷委員モ御舉ゲニナリマシタヤウナ京都、神奈川、其他群馬、高知ノ如キ所ハ、縣外移出ノ數量ハ當時ニ於テ極メテ少イ、サウ云フヤウナ所ガ第一次ノ買上ノ時ニ應募致シマシタト云フヤウ

ナコトデ、今回ニ於テハサウ云フ所ガ買入決定ナシト云フヤウナコトニナツテ現ハレテ來テ居ルト申シタノデアリマス

○東郷委員 サウシマスト、サウ云フヤウナ所デ、例ヘバ今回全ク申込ノナイ京都、奈良、徳島其他成績ノ惡イ所モアリマスガ、サウ云フ所ハ第一次ノ割當ガ非常ニ多カッタト云フコトニナリマスガ、割當以上ニ應募ガアッタト云フ譯デハナカラウト思ヒマスガ、ドウ云フコトデアリマスカ

○石黒政府委員 サウ云フ所ハ、要スルニ縣ノ生産ト云フモノハ相當アリマシテモ、外ヘ賣ルト云フヤウナコトナシニ、縣内デ以テ消費ヲサレテシマフ、或ハ農家自體ノ消費デ以テ大部分盡キテシマフト云フヤウナコトノ爲ニ、餘リ賣ル數量ガナカッタ地方デアリマス、併ナガラ此割當ヲスル際ニ、ソレナラバ移出數量デ割當ヲ決メテ行ッタラ宜イデハナイカト云フ風ニモ考ヘラレル

於テ議論ガヤカマシイノデアリマシテ、公平ナル割當ト云フコトハ、移出數量ノミニ依ルコトハ困ルト云フ議論ガヤカマシイ、農林省ニ於テモ、ソレ等ヲ勘考シテ先ニ申上ゲマシタヤウナ三ツノ數量ヲ平均致シマシテ、割當數量ヲ決定致シタ譯デアリマス、隨テソ

レ等ノ平常縣外移出ノ販賣數量ノ少イ所ニ於テハ、前ノ割當ニ對シテ應募シタモノガ大體一杯デアッタモノト見エマシテ、今回ニ於テハ申込ガナカッタ、若クハ少ナカッタト云フ結果ニナルノデアラウト考ヘテ居リマス

○東郷委員 先程私ノ所ヘ奈良縣カラ電報ガ參ッタノヲ讀上ゲタノデハ、詰リ買上價格ガ農業者ヲ——斯ウ云フ言葉ハ適當カドウカ知ラヌガ、無視シタル安キ價格デアルカラ本縣ハ一俵モ應募スル者ガナイ、近畿各府縣共怨嗟ノ聲ガ高イト云フヤウナコトデアリマシタ、サウスルト今ノヤウナ御話モ原因

ノ一ツカモ知レナイガ、今度ノ一俵モ申込ガナイト云フ所ハ、ヤハリ買上價格ガ地元相場ト非常ナ開キガアッテ、隨テ農家ハ困ッテ居テモ此際賣ラナイト云ッタヤウナ意味デ出タノデハナイデセウカ、ドウモ私共ニハサウ思ハレテ仕方ガナイガ、當局ハサウ御考ヘニナリマセヌカ

○石黒政府委員 私ハ只今申上ゲタコトノミヲ原因ダトハ申シテ居ラナイノデアリマシテ、産地高ト云フコトヲ前ニ御答申上ゲテ居ル、其點ニハ御觸レニナラズシテ只今ノ御質問デアッテ、オ前ハ是等ノ府縣ニ於テ第一次ノ買上デ相當數量ヲ取ッタガト云フコトヲ言ッテ居ルカラ、ソレヲ尙ホ説明シロト

云フコトデアリマスカラ申上ゲタノデアリマス、無論産地高ト云フコトノ爲ニ今度ノ買上價格ハ産地ノ價格ト比較ヲシテ當事者ノ望ム所ニ達シテ居ラナカッタ結果持ッテ來ナカッタモノガアルコトハ想像サレルノデアリマス、併ナガラ其買上價格ノ決定ト云フモノハ前回申上ゲマシタヤウニ、時價ノ決定ト致シマシテハ一次ノ買上ト別ニ變ッテ居リマセヌ

○東郷委員 大體分リマシタ、詰リ昨日來ノ御説明ニ依ッテ政府ガ第二次米ノ買上ゲヲ決定ニナッタ時ノ買上價格ノ定メ方ハ、第一次ノ場合ト少シモ變ラナイ適當ナリト思フ方法ヲ以テ遺憾ナク決定シタノデ、私ハソレガサウデナイダラウトカ、違ッテ居ルトハ申シマセヌ、其通りデナクテハナラヌ筈デアリマス、ソレデ御買上ゲニナッテ、而シテ事實ガ産地相場ナドト餘程ノ開キガアッテ、コンナ不結果ニ終ルト云フコトヲ面アタリ見ルト云フコトハ、是ハ政府當局ト致シマシテモ又吾々トシテモ、非常ニ考慮シテ掛ラナクテハナラヌ問題ダト思ヒマス、詰リ政府ガ米價調節、或ル意味ニ於テハモット米ノ値ヲ釣上ゲルト云フ意味ガ多分ニ含マレテ居ルト思ヒマスガ、サウ云フ意味デ、買ヒニ出テモ豫想シテ居ルヤウニ事實ガ現ハレテ來ナイ、即チ適當ナル目度

ヲ以テ正シイ方法ヲ以テ定メテモ、事實ハソレト全ク違フヤウナ結果ニナリ、思フヤウナ成績ヲ舉ゲルコトガ出來ナイ、斯ウ云フコトガ此二次御買上ノ結果カラ窺ハレルノデアリマス、斯ウ云フコトハ將來ニ於テモ現レルノデハナイカ、サウスルトハ餘程ムヅカシイモノダ、率勢米價デーツノ標準ヲ定メテヤツテモ、中々其結果ヲ思フヤウニ舉ゲルコトハ困難ナモノダト云フヤウナコトヲ、私共ニ教ヘル氣ガ致スノデアリマス、ソレデスカラ私ハ繰返シテ伺ツタヤウナ次第デアリマス、是以上私ハ御尋シマセヌ、大體分リマシタ

○西村委員長 ソレデハアナタノ御質問ハ終リマシタカ

○東郷委員 質問ハマダ澤山アリマス、農林大臣ハマダ見エヌデセウカ、農林大臣ガ御出デニナツテ、農林大臣ノ御答辯ニ依ツテハ、私ノ質問モ大體打切ツテ宜イト思ヒマスガ、御答辯ノ如何ニ依ツテハモット進メナクテハナラスト

思ヒマス、其前提デスカラ大臣ニ一寸御質問シタイ、答辯ノ如何ニ依ツテハ政府委員ニ聽クコトガ多い、又答辯ノ如何ニ依ツテハ質問シナクテモ宜イコトガアルカモ知レマセヌ、——大臣ノ御出デニナル前ニ私材料ノ提供ヲ御願致シマスガ、政府カラ御配付ニナツテ居リマス家計費調査ノ實行案ガゴザイ

マス、其内容ヲ見マス、唯家計費調査ノ方法ナリ項目ナリ、其他必要ナルトガ規定シテアルガ、此調査カラ所謂消費者ノ適當ナル米價ガドノ程度ニアルカト云フ、ソレヲ計算スル方法ガ之ニナイノデアリマス、デスカラソレヲ分ルヤウニ御示ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、是ハ書イタモノデモ宜シウゴザイマスシ、或ハ御説明デモ宜シウゴザイマスモウ一ツ此案ヲ私共ガ審議シテ行ク上ニ於テ非常ニ參考ニナルト思ヒマス所ノ内閣統計局デ調査ニナツテ居ル家計費ノ調、アレヲ御配付ヲ願ヒタイト思ヒマス、是ハ私ハ此處デ申上ゲテ宜イカドウカ知レマセヌガ、米穀調査會デ頂戴致シテ居リマスガ、他ノ委員諸君カラ非常ニ註文ガアリマスカラ、ソレヲ御配付願ヘレバ好都合ダト思ヒマス

○石黒政府委員 只今ノ材料ノコトデゴザイマスガ、統計局ノ大正十五年九月ノ家計費調査ノ結果ハ、非常ニ大キナ報告書ガ三冊バカリニナツテ居リマスノデ、ソレハ一寸ムヅカシイノデハナイカト思ヒマスガ、米穀調査會ノ時ニ東郷委員ニ御配リシタノハ、農務局ニ於テ便宜其中カラ拔出シタモノデゴザイマス、ソレデ宜シケレバ早速刷増ヲ致シマシテ御配リ致シマス

○東郷委員 ソレデ結構デス

○關矢委員 只今ノ問題ニ關聯シテ政府當局ニ一寸質問致シタイ、昨年ハ非常ニ豐作デアリマシタ結果トシテ、精米致シマシタ結果ガ非常ニ死米或ハ青米ト云フヤウナモノガ多クテ、乾燥等ガ良カッタニモ拘ラズ、検査等級ガ落チタト云フヤウナコトヲ各地ニ散見致シマスノデ、斯様ナ年ハモウ少シ政府ハ買上ニ對スル格付ヲ下ゲテハドウカ、之ニ對シテ政府ハ何カ御考ハアリマセヌカ

○石黒政府委員 只今ノ關矢サンノ御質問ハ御尤モナ點モアルト考ヘマス、各地カラ同様ノ希望ヲ申シテ來ラレタ方モ三四アリマスノデ、農林省ノ買上ト致シマシテハ、相當擴張シテ買上ヲ致シタノデアリマス、併シ擴張ヲ無限ニスル譯ニモ參リマセヌ、ト云フ

ノハ本年ノ如ク多量穫レマシタ時ニハ、ソレガ何時捌キ得ルカト云フコトノ見當ガ付カヌノデアリマシテ、相當是ハ長ク持タナケレバナラヌト思ヒマス、買替ト致シマシテモ、サウス澤山買替ヲスル譯ニモ行カヌト云フヤウナコトカラ、相當長期ニ保管シナクテハナラヌト云フ風ニ考ヘマスノデ、ソレトノ調和ヲ取リマシテ、出來ルダケ擴張致スコトニシテ、四等アタリノ米ニ付テモ買上ヲ擴張致シタ所モ相當アルノデアリマス、御尋ネガ若シ縣ノ行ツテ

居リマス米穀検査ノ程度ヲ、同ジ三等ト云フモノデモ、少シ低イモノマデモヤッタ宜イデハナイカト云フコトデアリマスレバ、ソレハ問題ハ違ヒマセガ、買上米ニ付テハ今申上ゲタヤウナ次第デアリマス

○東委員 預金部ノコトニ付テ政府ニ伺ヒタイ、先達預金部ノ調ヲ配付サレマシテ、預金部ノ低利資金供給狀況ニ付テ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス、普通資金供給額、特別資金供給額ト云フコトニナツテ居リマスルガ、普通資金二億六千二百三十萬圓、特別資金二億二千九百餘萬圓、計四億九千三百三十五萬一千圓、サウシテ貸付現在額ガ二億七千四百萬圓、斯ウ云フヤウナ數字ガ配付シテアリマスルガ、此農林關係ノ資金ノ甲ガ普通資金、乙ガ特別資金ト云フコトニナツテ居リマス、サウシテ特別資金ノ中ノ各種組合高利債借替資金、養蠶應急資金、米作者應急資金、中小商工農資金、失業救済農山漁村對策資金、米穀應急資金、各種災害資金、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、此處ニ又供給額三億八千四百萬圓、貸付額二億二千九百萬圓、貸付現在額ガ一億一千八百萬圓、斯ウ云フコトニナツテ居リマスガ、是ハ全體農林關係トシテ此普通資金ト特別資金ヲ合セマシテ幾ラニナルノデアリマスカ、ソレガ一寸分ラ

ヌデスガ

○石黒政府委員

只今御讀ミニナリマシタノハ、差上ゲマシタ表ニ付テ御讀ミ下サツタコト、思ヒマスガ、ソレノ一番初ガ總括表ナンデゴザイマス、ソレデ普通資金ト特別資金トヲ合セマシテ計トアリマスル、是ガ農林關係ノ預金部地方資金ノ總額ナンデス、サウシテ其普通資金ト云フノガ甲トシテ出テ居リマスガ、是ハ全ク初ノ表ト同ジ一本ニ出シテアリマスガ、特別資金ノ中ヲ内譯ニシテ御覽ニ入レテ居ル譯デス

○東委員

サウスルト特別資金ノ外ニ普通資金ト云フモノガ加ハレバ全額ガ出ル譯デスネ

○石黒政府委員

左様デゴザイマス、サウシテ其總額ハ此處ニ書イテゴザイマスヤウニ終ヒノ計ニゴザイマス、供給額六億八千萬圓、ソレカラ貸付額ガ四億九千萬圓、貸付現在額ガ二億七千四百萬圓、斯ウゴザイマス、ソレガ總額デゴザイマス、ソレデ普通資金ト申シマス方ハ一本ニシテ同ジ表ガ甲トシテ又別ニ書イテゴザイマス、其内容ハ年々定テ出マス産業組合資金、耕地整理資金ソレカラ森林組合、畜産組合、漁業組合等ノ資金デゴザイマス、是ハ經常的ニ出テ居リマス、ソレカラ特別資金ト云フノハ其時ノ事情ニ應ジマシテ色々養蠶應急施設ヲシナケレバナラ

ヌトカ、或ハ米ニ對スル應急施設ヲシナケレバナラヌトカ、災害ガアツタノニ對シテ應急ノ爲ニ資金ヲ貸サナケレバナラヌト云フヤウナコトデ出シマシタノハ特別資金ト稱シテ居ルノデアリマス

○東委員

サウ致シマスルト合計ノ所ニ六億八千萬圓ト供給額ガアツテ貸付ノ濟ンダモノハ四億九千萬圓、サウスルト今ノ貸付現在額ガ二億七千四百萬圓ト云フノデアルガ此現在額ト云フノハ貸付濟額ノモノガマダ本當ニ回ツテ居ラヌデ、今後手續中ノモノト斯ウ解スレバ宜シイデスカ

○石黒政府委員

一番下ノ貸付現在額ト云フノハ是ハ今貸付ニナツテ居ル分ナノデス、今ノ貸付額ト云フノハ是ダケデス

○東委員

分リマシタ、供給額ト云フ下ニ貸付濟額ト云フノガアルガ此貸付濟額ト現在額ト云フノト大變隔リガアル、二億圓程隔リガアルガ、是ハドウ云フ譯ナンデスカ

○石黒政府委員

ソレハ既ニ貸付ケタモノト、既ニ償還致シタモノガ其差ニナツテ居リマス

○東委員

是ハ濟ンダ方デスカ——サウデスカ

○石黒政府委員

一應貸付ヲ濟マシタモノデス

○東委員

分リマシタ

○石黒政府委員

其ノ中カラ返シタモノヲ引キマスト貸付現在額ガ出マス

○東委員

殘高デスカ

○石黒政府委員

殘高デゴザイマス

○東委員

此貸付濟額ト云フノハ餘程古クカラノ計算デセウカ、此低利資金ノ預金部運用始ツテ以來ノ全額デゴザイマスカ

○石黒政府委員

左様デゴザイマス、明治四十三年デアリマシタカト存ジマス、ソレ以來ノ各種資金ノ貸付デス

○東委員

サウシマス、此養蠶應急資金トカ米作者應急資金トカ云フ特別資金ノ回收ノ方法ハドウ云フ風ニナツテ居ルカ、此狀態ガ分リマシタナラバ、御說明デモ宜シイシ、表デモ宜シイガ、ソレヲ御示ヲ願ヒタイト思ヒマス、同收ノ狀況ヲ知リタイノデス、農家ノ返ス金ニ付テ耕地整理資金トカ云フサウ云フモノ、總テニ付テ何カ御分リニナリマシタラ御知ラセヲ願ヒマス

○石黒政府委員

承知致シマシタ、調べマシテ表ヲ御覽ニ入レマス

○西村委員長

東郷委員ニ申上ゲマス、農林大臣ノ御出席ハモウ少シ遅レルカモ知レマセヌガ、政府委員ノ方ヲ先ニシテ後カラ農林大臣ノ御説明ヲ願ツテハイカヌデスカ

○東郷委員

後ニシマス

○片野委員

先達本會議ニ此米穀法ノ改正案ガ上程ニナリマシタ時ニ、石黒政府委員ノ御説明中、今度ノ率勢米價ヲ適用ニナル場合ノ豫想ニ付テノ御答辯ノ中ニ、月別發動ヲスルト云フヤウナ御話ガアツタト思ヒマシタ、所謂下値ニ割ラ割ツタ場合、上値ニ割ラ割ツタ場合、此事ヲ先ヅドウ云フコトニナルカ御伺シマス

○石黒政府委員

只今御尋ノ點ハ斯ウ云フ意味デ申上ゲタノデアリマス、米價ニ對シマシテ米穀法發動ノ基準ノ最低價ニ對シマシマス、サウシマス、率勢米價一本デ定マリマス、或ハ他ノ生計生産費ガ合サツテ定マリマス、何レニ致シマシテモ何圓何十錢ト云フ最低價ノ基準價格ガ一年ニ一本デ定マル譯デアアル、其基準ニ照シマシテ、買サウト云フ場合ハ、是ハ東西ノ正米相場ノ狀況ヲ平均シテ見マシテ、サウシテソレニ照合シテ發動スルノデアリマスカラ、其價格ト云フモノハ其時々ニ見ルノデアリマス、過去ノ米價ニ當嵌メテ、出動ヲスル時期ガ何度ニナルダラウカト云フコトヲ御調ベニナルノニハ、年平均ノ價格デ御調ベニナルト云フト、非常ニ平均サレタ米價ニナリマス、寧ロソレヨリモ月別ノ平均ノ米價デ以テ比ベタ方ガ宜カラウ、

斯ウ云フコトヲ申上ゲタノデス、一例ヲ申上ゲテ見マスレバ、十二月ナラ十二月ト云フ時ニ、一度標準米價ヨリモ下ニ出タ、サウ云フコトガ假ニ一遍アタト致シマスサウスルト其年ハサウヒドイ時デナイノデアルカラ、一月ニハ下デアツケレドモ二月以後ハ上ツテ來テ、年平均ニスルト其年ノ平均米價ト云フモノハ最低標準價格ヨリモ下ニハナツテ來ナイト云フ年平均ノ米價ガ出ルコトガアル、其年ハ過去ノ年ヲ振返ッテ見ルト、出ル可カラザル年デアルト云フ風ニモ見ラレル、ケレドモ實際十二月ト一月ガ下ツテ居レバ政府トシテハ米穀法ヲ發動サセルデアラウト思フ、サウ云フコトガアリマスカラ、大體ニニ於テ出動スル機會ガ過去ニ於テアタカカ無カッタカト云フコトヲ御調ベニナリマスノニハ、年平均ノ價格デ御覽下サルヨリモ寧ロ月平均デ細カク御覽下サツタ方ガ宜イノデハナイカト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、理論カラ言ヘバ日別デ見ルノモ尙ホ宜イト云フヤウニモ一應考ヘラレマスカ、併シ米價ノ低落ガ相當ノ期間續カナケレバ、是ハ發動スル必要ガ無イノデアリマスカラ、大體月デ御覽ニナルノガ宜カラウト思フノデス

ノ買入ニ對シテ七十四萬幾千石決定サレテ居ルノデスカ、此表ノ中ヲ見マスト、豫定額ガ二萬俵モ三萬俵モアル所デ一ツモ應募者ガナイト云フ所モアリマスカ、豫定額ト決定額トビツチリ合ッテ居ルモノモアル、是ハ或ハ以上申込ガアツタノデヤナイカト思フノデスカ、ソコデ總計シテ申込ガ何ボアツタカ、又其申込ト云フモノガコチヲ豫定シテ居ル所ヨリハ超過シタ所ガドノ位アルカト云フコトノ御調ガ出來テ居リマセヌカ

ケテ各銘柄ニ付テノ買上價格ノ決メ方モ昨日申上ゲマシタヤウナコトニヤツテ居ルコトハ米穀法制定以來ズット同ジ方針デアリマス、是ハ全ク事務的ニヤツテ居リマス、事務ノ方デハ嚴格ニヤツテ居リマス、毎回ノ買上トモ同ジ方針デズットヤツテ來テ居リマス

先程東サノ御質問ノ償還額ノ調デアリマスガ、一寸只今手許ニ材料ヲ切ラシマシタ、特別資金ニ付テノ償還額ノハッキリシタモノハ只今ゴザイマセヌガ、普通資金ノ償還額ハハッキリ分ッテ居リマスカラ、ソレダケヲ申上ゲマス、耕地整理事業ニ對シマシテ貸付濟額一億二千三百五十七萬七千圓、償還額ガ五千三百四十萬圓、ソレデ貸付ノ現在額七千七百七十七圓、產業組合ニ對シマシテ貸付濟額ガ一億六百九十七萬五千圓、償還額ガ三千五百四十八萬七千圓、貸付現在額ガ七千四百四十八萬八千圓、ソレカラ森林組合ニ對シマシテ貸付濟額ガ四百十四萬三千圓、償還額ガ九十五萬一千圓、貸付現在額ガ三百十九萬二千圓、漁業組合ニ對シマシテノ貸付濟額ガ千五百五十八萬九千圓、償還額ガ四百三十三萬四千圓、貸付現在額ガ七百五十五萬五千圓、畜產組合ニ對シテノ貸付濟額ガ六百六萬七千圓、償還額ガ二百四十六萬六千圓、貸付現在額ガ三百六十萬一千圓、ソレカラ其

ノ他ノ貸付濟額ガ一千萬圓デ償還額ガ一千萬圓、是デ計ラ致シマスト預金部普通地方資金ノ合計ガ貸付濟額ガ茲ニ現レテ居ルヤウニ二億六千二百三十五萬一千圓デアリマシテ、償還濟額ガ一億六百三十三萬八千圓、貸付現在額ガ一億五千六百一萬三千圓、斯ウ云フコトニナリマス

〔委員長退席、胎中理事著席〕

○東委員 養蠶資金ナドハ償還サレツツアリマスカ、米穀資金ノ昭和二年頃ニ貸シタモノ、狀況ヲ出來ルナラバ最近ノ分モ併セテ承リタイ

○胎中委員長代理 一寸速記ヲ止メテ……

〔速記中止〕

○胎中委員長代理 速記ヲ始メテ……

○平井委員 米ノ買収ニ付テ岐阜縣ノ如キハ検査ヲ現ニ實行シテ居ルノガ二市八郡ト承知シテ居リマスカ、其他ノ產米改良ト云フコトニ付テ何カ御意見ガアルデセウカ

○山田政府委員 岐阜縣ノ產米改良ノコトハ縣會デナケレバ一寸御答ハ困リマス

○平井委員 現在ノ狀態ニ於テ段々農村ニ於テ製穀機ナドモ段々改良サレテ、殆ド乾燥サレナイ穀ガ現ニ挽キ得ル狀態ニナツテ居ル、ソレカラ検査ヲ實行シテ居ラヌ土地ノ米ガ年々惡クナッ

○西村委員長 一寸政府委員ニ御尋シマス、只今表ヲ貴ヒマシタガ、百萬石

○石黒政府委員 其應募申込ノ數量ガ餘計デアツタ縣モアルノデアリマス、唯、ソレハ從來事務所事務所デハ分ッテ居リマスカ、發表ハシテ居リマセヌ、非常ニ過多ニアツタ縣ノ如キハ、ソレガ爲ニ米價ガ落チルト云フコトヲ慮リマシテ、發表シテ居リマセヌカラソレハドウゾ御諒承ヲ願ヒマス

○西村委員長 ソレカラモウ一ツ御尋シタイノデアリマスカ、時價ニ依ッテ買上ゲル、其時價ノ算定方法ハ米穀法改正以來ズット同ジ標準ニ依ッテ買フノデアツテ、時ニ依ッテ違フト云フコトハアリマセヌカ

○石黒政府委員 無論時價ニ依ルノデアリマスカラ價格ハ變リマスカ、ソレノ出シ方ハ、昨日委員會デ申上ゲマシタヤウな方法デ出シマス、格差ヲ附

○石黒政府委員 無論時價ニ依ルノデアリマスカラ價格ハ變リマスカ、ソレノ出シ方ハ、昨日委員會デ申上ゲマシタヤウな方法デ出シマス、格差ヲ附

○石黒政府委員 無論時價ニ依ルノデアリマスカラ價格ハ變リマスカ、ソレノ出シ方ハ、昨日委員會デ申上ゲマシタヤウな方法デ出シマス、格差ヲ附

○石黒政府委員 無論時價ニ依ルノデアリマスカラ價格ハ變リマスカ、ソレノ出シ方ハ、昨日委員會デ申上ゲマシタヤウな方法デ出シマス、格差ヲ附

○石黒政府委員 無論時價ニ依ルノデアリマスカラ價格ハ變リマスカ、ソレノ出シ方ハ、昨日委員會デ申上ゲマシタヤウな方法デ出シマス、格差ヲ附

テ居ル、殊ニ年貢米ナドニ至ッテハ殆
ド問題ニナラヌ、小作米ナドハ良イ米
ヲ持ッテ行クコトガ損ノヤウニ考ヘテ
居ッテ寔ニ困ッタ状態デアル、實際地方
デハ小作人ト地主トノ關係ガ中々容易
ニ纏ラヌ、私ノ郡ナドハ非常ニ困ッテ、
何トカ政府ノ方針デ適當ナ方針ヲ執ッ
テ貰フノガ最モ急務ダト私考ヘテ居
ル、何等カ適當ノ御考ガナイデセウカ
○山田政府委員 岐阜縣ノ米ガ段々惡
クナルト云フコトハ實ハ私初メテ伺ッ
タノデアリマス、若シサウ云フヤウナ
事實ガアレバ、其筋ノ農務局カラ精々
注意ヲ加ヘルコトニ致シタイト存ジマ
ス、御互ニ郷里ノコトデアリマスカ
ラ、相共ニ改良進步ノ方法ヲ種々ナル
方面カラ講ジタイト存ジマス

○平井委員 重ネテ伺ヒマスガ、是ハ
ドウカ等閑ニ付シテ置カヌヤウニ、郷
里ノ爲ニ折角十分ノ御考慮ヲ願ヒマ
ス、此機會ニ於テ御願致シテ置キマ
ス

○山田政府委員 承知致シマシタ

○長野委員 農林當局ニ御尋致シマ
スガ、近來林業家ノ方面ヲ考ヘテ見
マス、コンクリート建築ガ始マッテ、
日林業ハ殆ド破産ニ瀕シテ居ル、又御
互ノ衣類方面カラ考ヘテ見テモ、最近
ハ人造絹絲ト云フモノガ非常ニ盛
ナッテ來テ、生絲モ綿絲モ今日中々打
撃ヲ被ッテ居ル、ソレカラ肥料等ヲ考
ヘテ

モ、硫安等ハ空中カラ空中窒素デ斯
如ク出來ルコトニ化學ガ進步シテ居
ル、斯様ニ日々ニ化學ガ非常ニ進步
致シテ居ル此趨勢カラ考ヘテ見ルト、
將來米或ハ麥ヲ作ッテ、サウシテ食
フコトハ廢メルヤウナコトニナッテ、
必ズヤ纖維植物カラ米麥ノ原料ヲ化
學的ニ製造スルコトニナル、サウシテ
原料ヲ加工シテ御互ニ日常ノ生活ノ
食料ニ充テルヤウニナリハセヌカト
云フ考ガアルノデアリマス、斯ウ云
フコトニ付テハ農務當局ハ御研究爲
サッテ居ラレマセウカ、若シ爲サ
ツテ居ナケレバ將來爲サル御考ハ
アルカナイカ、之ヲ一ツ伺ッテ見
タイト思ヒマス

○石黒政府委員 大變ムヅカシイ御
註文デ、一寸私御答申兼ネマスガ、
只今食料ヲ栽培若クハ飼養致シテ
居リマスル動物以外ニ何カ求メル
ト云フコトニ付テハ、各國ノ學者
ガ極メテ遠大ナ考デ攻究シテ居
ルヤウニ思ヒマス、其中ニ今ノ御
話ノヤウナ植物纖維カラ穀類ト同
ジヤウナ澱粉質ノモノヲ取ルト云
フコトガ研究サレテ居ルカドウカ、
是ハ私承知致シテ居リマセヌ、或
ハアルカト存ジマスガ、能ク承知
致シテ居リマセヌ、併ナガラ只今
頻リニ研究サレテ居ルト思ヒマス
ノハ、微生物ヲ利用致シマシテ或
種ノ食料ヲ造ルト云フ方法ハ研究
サレテ居ルヤウニ思ヒマス

ス、即チ酵母見タヤウナモノ、ア、
云フ「バクテリア」應用ニ依ッテ或
種ノ食料ヲ拵ヘルト云フヤウナコ
トハ、頻ニ農藝化學ノ方面デ、酒
造デアルトカ、或ハ酪農デアルト
カ云フヤウナ方面ノ學者ガ研究
シテ居ルヤウニ伺ッテ居リマス、
ソレカラ學問的ノ研究デアリマ
セヌガ、植物ノ纖維デハアリマ
セヌガ、植物ノ幹アタリカラ澱粉
ヲ取ルト云フ工業ハ、今日熱帶地
方ノ生産ノ澱粉「セイゴ」ノ如キ
ハ、或ハ「サゴ」椰子ト云フ植物
ノ幹カラ澱粉ヲ取ルト云フヤウ
ナヤリ方デ、纖維カラデハナイガ
ヤッテ居リマス、サウ云フヤリ方
ハ謂ハバ一種ノ農業ト申シマス
カ、工業ト申シマスガ、サウ云フ
ヤウナヤリ方デ以テ取ツテ居ル
ノハ今日ト雖モヤッテ居リマス、
日本ニ於テサウ云フヤウナ事ヲ
ヤリ得ルモノガアルカナイカ、或
種ノ植物ノ根カラ澱粉ヲ取ッテ居
ルト云フ葛ノ如キモノガアリマ
スガ、是モ所産ハ多寡ノ知レタ
モノデアリマス、是ハ問題ニナ
ラヌト思ヒマス、御考ハ木材見
タヤウナモノカラ食料ヲ得ルト云
フヤウナ方法ハナイカト云フコ
トデアリマスガ、其方ノ研究ハマ
ダ一向ニ伺ッテ居リマセヌ

止シテ懇談ニ致シマセウ
〔速記中止〕

〔胎中理事退席、委員長復席〕

○西村委員長 大臣ガ見エマシタ
カラ東郷君

○東郷委員 大臣ノオイデヲ待
ッテ約二時間半バカリ開店休業
ヲヤッテ居リマシタガ、此時間
ダケハ記録カラ御除キテ御願致
シタウゴザイマス、ソコデ先日
來私共色々方面カラ、政府當局
ニ疑問ヲ御尋致シマシテ、御答
辯ヲ得タノデアリマスガ、其質
問應答ノ跡ヲ考ヘテ見マス
ト、非常ニ大臣ハ今回ノ米穀法
ノ改正、殊ニ基準價格設定ニ關
スル規定ハ、是ハ根本的
改革ダト斯ウ仰セラレマス
ケレドモ、私共サウ考ヘナイ
ノデアリマス、更ニ此特別會計
ノ方ノ損失一億五千萬圓ノ始
末、是ガ最モ先決問題トシテ
解決シナケレバナラヌノデア
リマスガ、是モ大藏大臣ヨリ御
説明ガアッタヤウニ、今日ノ
財政政デハ如何トモ出來ナイ、
將來ノ十年計畫ノ財政計畫
ノ中ニモ見込デ置ク譯ニ行カ
ナイ、將來ハ何トカシナケレ
バナラヌケレドモト云フ御話
デアルシ、是モ解決ガ出來ナイ、
ソレカラ米穀法ヲ別ニシテ、所
謂農家自ラ、出來秋ノ内地市場
ヘノ殺到ヲ調節スル爲ノ施設、
農業倉庫及ビソレ等ニ類似ノ
經濟的施設、是モ從來カラ農
林省デオヤリニナッ

○胎中委員長代理 ソレデハ速記ヲ中
止シテ懇談ニ移ッテハ如何
デスカ」ト呼フ者アリ」

テ居リ、又現下ノ此豐作ニ依ル應急手段トシテ、色々御苦心ニハナツテ居リマスケレドモ、是トテ御説明ニモアルヤウニ、別ニ積極的ナ大方針ヲ以テ、御計畫ガ立ツテ居ルヤウニモ思ハレナイ、又植民地ノ米、殊ニ朝鮮米ノ内地ニ這入ツテ來マスコトニ對スル、此調節ニ對スル施設モ、現在ノ儘デハ十分デナイガ、資金ノ關係等デ、先ヅ是デ我慢セザルヲ得ナイト、拓務大臣モ御認メニナツテ居ル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ見マスト、農林大臣ガ根本的ナ改正ダト仰セラレマスケレドモ、ドウモ總テガ不徹底、私達ハ之ヲ應急的改正ト考ヘルヨリ外ニ途ガナイヤウニ思フノデアリマス、殊ニ米穀法其ノモノハ、之ヲ獨立シテ考ヘレバ、一ツノ大キナ法律デアリ、問題デアリマスケレドモ、現下ノ行詰ツタ我國ノ米穀政策ヲ、根本的ニ打開スルト云フ意味カラ言ヘバ大キナ方策ノ中ノ極メテ小サナ部分ト申シマスカ、其一部分ニ過ギナイ、而モソレガ必要ナ發動ノ結果、國家ニ莫大ナ損失ヲ掛ケ、今後モ其損失ハ益々大キクナルト云フヤウナ狀態デアル、此損失ノ善イカ惡イカハ別問題トシテ、損失ノ出テ來ルト云フコトハ事實ナノデアアル、斯様ニ考ヘマスト、ドウモ此米穀法其モノハ、私ハ極ク卑近ナ例ヲ以テ譬ヘテ見レバ、道樂息子ミタヤウナモ

ノデハナイカト思フ、此道樂息子ノ爲ニ、産ミノ親ヤ育テノ親ガ非常ニ苦シデ居ルト云フヤウナ譯ナノデアアル、大正十年ニ此米穀法ナルモノガ生レタ場合ニハ、何人モ將來ヲ非常ニ期待シテ居ツタ、所謂玉ノ如キ立派ナ男ノ子デアッタニ違ヒナイ、所ガ其後外界ノ事情ガ變ツタ、外米ノ關係、朝鮮、臺灣等ノ産米ノ關係、其他經濟界ノ變化、殊ニ現下ニ於ケル此驚クベキ經濟ノ急變、ソレ等ノ爲ニ是ガ非常ナ道樂息子ニナツタ、金ヲ使フト云フヤウナコトデ、是ハ何トカシナケレバナラヌト云フノデスガ、此道樂息子ニ、親ガ金ヲ使ツテハイカヌ、道樂スルナト忠告シテ見タ所ガ、中々肯クモノデナイ、ソコデ何トカシナケレバナラヌト云フヤウナコトカラ考ヘテ親達ガ心配シテ、サウシテ一ツ禁治産位マデヤツテ行カウト云フヤウナコトデ、今日ノ所謂米穀法ノ改正、基準價格ノ設定ト云フヤウナコトマデ進ミ行キ、ソレデ以テ一ツ何トカ縛ラウ、斯ウ云フ意味デナイカト思ヒマス、所ガ是デモ此道樂息子ハ、其位ノ禁治産位ノ程度デハ、中々是ハ納マラナイ、之ヲ徹底的ニヤルニハ思切ツテ一ツ勘當シテシマフ、其處マデ行クヨリ外ニ仕様ハナイト吾々ハサウ考ヘマス、併シ之ヲ勘當シテシマツタ切リニシテ置クト、後繼ガナイノデスカラ、

親達ハ一ツ立派ナ次男坊ヲ此處デ産ンデ、後デ困ラヌヤウニスル、斯ウ云フコトデナイカト思ヒマス、ソコデ農林大臣ハ一ツ此道樂息子ヲ勘當シテシマツテ、サウシテ其代リニ一ツ立派ナ後繼者ヲ、是カラ新シク設ケヨウト云フ勇氣ト決心ガアリマスカ、即チ此米穀法ヲ今日ノ時勢カラ鑑ミテ、一ツ撤廢シテシマツテ、廢止シテシマツテ、外ニ別ニ之ニ代ルベキ有力ナ一ツノ根本的方策ヲ確立スルト云ツタヤウナ御考ハアリマセヌカドウカ、之ヲ承ツテ見タイト思ヒマス

○町田國務大臣 先日來東郷君ハ農業經營學者トシテ、從來長イ間御研究ニナツタ抱負ノ一端ヲ、質問應答ノ際ニ御漏ラシテ下サツタ上ニ、東郷君ノ眞ニ米穀問題ノ前途ヲ考ヘラレテ、斯様ナ方法デヤリタイト云フ東郷君ノ御意見ノアル所モ、略々察シテ居マス、即チ農家ノ出來ルダケノ自力ニ依リタイ、農家ノ自力デ參ラヌ時ニハ、自力デ之ヲ處理スルダケノ相當ノ便宜ヲ、國家ガ與ヘル程度ニ止メテ置イテ行クノ外アルマイト云フ意味カラ、外米、朝鮮臺灣米ノ内地移入ニ對スル調節、農業倉庫等ノコトニ對スル御意見ヲ、御質問中ニ承ルコトヲ得マシタノデアリマス、大體ニ於テハ私共ノ考ヘテ居ル所ト異ル所ハアリマセヌ、唯昨年答申ガアツタ

ニモ拘ラズ、米穀法ノ法律ノ中ニ書ク問題ヲ別トシテ、其他ノ施設ニ對シテハ、餘リ進ンデ居ラヌコトヲ遺憾トセラルル意味ガアリマシタ、至極左様デアリマス、朝鮮カラ内地ニ月割平均デ入レルト云フコトモ、マダ十分行ヒ得ラレツ、アルトハ思ハレヌ節モアリマス、農業倉庫ヲ普及セシメテ、之ニ低利資金ヲ與ヘテ農家自體ニ貯藏サセテ、需給關係ヲ主トシテ農家ノ手ニ依ツテ行ハシメテ、國家出動ノ機會ヲ出來ルダケ少クシタイ、出來得ルナラバ之ヲ廢止シタイト云フ、理想ノ論カラ出發サレテ居ル御意見モ能ク諒知シマシタガ、昨年答申ヲ得マス前カラモ此事ハ考ヘテ居リマシタモノハ、大體ニ於テ此答申ハ昨年ノ春ト思ヒマス——其點ハ第一回ノ答申ヲ得マシテ以來相當考ヘテ居リマス、昨年カラ今年ニ掛ケテ農家ノ不振窮狀ノ甚シキ點カラ、應急對策トシテ、預金部ノ許ス限リ、出來ルダケ多クノ金額ヲ先以テ農村失業ノ方面ニ使ハナケレバナラヌト云フ必要ヲ感ジマシタガ故ニ、米穀貯藏ノ爲ニ低利資金ヲ多ク與ヘルト云フ考ヲ實現スルコトガ出來ナカツタ事情モ一ツ御諒知ヲ願ヒタイ、僅カナガラ三千萬圓ノ貯藏ヲ低利資金ニ依ツテヤルト云フコトニナリマシタノモ、第一回ノ答申ニアリマシタ農業倉庫ノ普及及ビ低

利資金ニ依ッテ自ラ之ヲ貯藏セシメル
ト云フ趣意ノ一端ハ、少クトモ茲ニ實
現セラレタト思ヒマス、而シテ私個人
ト致シマシテモ、農林當局ト致シマシ
テモ、今後ハ相成ルベクハ國家直接ノ
保護ト云フコトハ、若シ避ケ得ラレル
ナラバ出來ルダケ之ヲ避ケテ、國民ノ
自覺、農民ノ責任觀念カラ、國家ガ出
動シナケレバナラヌ已ムヲ得ザルモノ
ニ對シテハ、國家ガ獎勵保護ヲ致スコ
トハ已ムヲ得マセヌケレドモ、今後新
シキ國民性ヲ養フ上カラ云ヒマシテ
モ、出來ルダケ國家直接ノ保護ト云フ
コトハ已ムヲ得ザル範圍ニ限定シテ、
國民就中農民ノ自覺ト農民自ラノ責任
ニ依ッテ農村經濟ヲ建直スコトニ致シ
タイト云フコトハ御同感デアリマス

消エテシマヒハセヌカ、斯ウ考ヘルノ
デアリマス、是モ重大ナル國策ヲ遂行
スル上ニ於テハ已ムヲ得ナイコトデハ
アリマス、併シ同ジ國家ノ金ヲ消費ス
ルノナラバ、モット有效ナル根本ノ方策
ガ其處ニアルノデハナイカト思フノデ
アリマス、ダカラ此際米穀法ト云フモ
ノヲ廢メテシマツテ、之ニ代ルモット有
效ナル根本策ヲ御立テニナル御考ハナ
イカ、斯ウ云フ事ヲ御尋シタノデアリ
マス、私自身今米穀法ヲ直チニ廢止シ
ヨウト云フ考ハ無イノデアリマス、米
穀調查會デ答申シテ居ルヤウニ、此米
穀法ヲ之ヲ改正シテ、當分ノ存續ス
ル、斯ウ申シテ居ルコトハ其處ニ在
ル、我國ノ米穀對策ト云フモノハ自由
放任主義デハイケナイト云フコトハ先
日來ノ應答デ、政府ノ御意見ニ私ノ考
モ同様デアリマス、今後之ヲ考慮シテ
人爲ノ適當ナル施設ヲシナケレバナラ
ヌ、斯ウ云フコトハ已ムヲ得ナイノデ
アリマスカラ、之ヲ今直チニ廢止スル
ノデハナイガ、別ニ何トカ根本的ナ方
策ヲ確立シヨウ、斯ウ云フ御熱心ハナ
イノデアリマスカ、斯ウ云フコトヲ御
尋シタノデアリマス

金ニ依ッテ民間デ之ヲ調節スルコトモ
一方法カト思ヒマス、併シ若シ昨年ノ
如キ豐作ガ假ニ二箇年モ續イテ參ッタ
場合ヲ想像シ、朝鮮ノ増產計畫ガ出來
マシテ、近ク一千萬石以上モ内地ニ這
入ル場合ガアルト想像シマスレバ、ド
ウモ是ハ農民ノ自覺、責任、或ハ低利
資金ダケデハ相當困難デハアルマイカ
ト思ヒマス、將來朝鮮ノ農民モ發達シ、
朝鮮ニ於テモ相當分量ノ米ヲ消費スル
コトガ出來テ、朝鮮臺灣ト内地ノ米ノ
關係ガ理想通りニ參ル時代ヲ考ヘ、又
内地ノ人口増加ニ伴ヒ、内地米ノ產額
ノ殖エル程度ヲ考ヘテ見マス、東郷
君モ吾々モ機會アル毎ニ農民ヲ指導シ、
此考ヲ吹込シテ曉ニハ、或ハ米穀法ガ
告朔ノ餼羊ト相成ル時代ガアリ得ルト
考ヘマス、併シ現實ノ政治問題トシテ
ハ米穀法出動ノ基準ヲ定メマシテ、ソ
レニ依ッテ動クト云フ——私ハ之ヲ米
穀法ノ根本的改正ト申シマスガ、此改
正ヲシテ、之ヲ活用モシ、運用シタイ
ト考ヘマスノデ、米穀法ヲ直チニ廢止ス
ルト云フコトニハ私共トシテハ考ガ及
ビマセヌ、唯理想論カラ出發シテ國民
ノ自覺ヲ促シ、之ニ伴フ施設ヲ致シマ
スレバ、屢々米穀法ヲ運用スルヤウナ
機會ガ漸ラ逐ウテ減ジ、國民ノ間ニ自
ラ責任ヲ負フト云フ觀念ガ年々逐ウテ強
クナリマシタ曉ニハ、此米穀法ハ告朔ノ

餼羊トシテ之ヲ使フ必要ガナイ迄ニ、
東郷君アタリノ主張セラレル低利資
金、其他農家ノ自力ニ依ッテ貯藏スル
ト云フ方法デ調節ガ出來得ルト思ヒマ
ス、ソレカラ前ノ御答ニ申添ヘテ置キ
タイノハ、特別會計モ此儘ダ、是モ遺
憾ダト云フ御話ガアリマシタガ、農林
當局トシテハ、少クトモ一兩年ノ間ニ
是非トモ整理ヲシテ見タイト云フ考ヲ
餘程強ク持ッテ居リマス、或ハ是ガ爲ニ
交付公債ガ殖エマシテ、公債ノ總額ガ
殖エルナドト云フコトニ付テ、多少懸
念シテ居ル人ガアルカモ知レマセヌガ、
併シ私ハ現實ニ今後仕事ヲスル爲ニ公
債ヲ殖ヤスト云フコトデアレバ、茲ニ
現内閣ノ政策ノ中ニ議論ノ餘地モアリ
マセウ、私ハソレデモ構ハヌ位ノ考ヲ
持ッテ居ル、失業公債ナドヲ出スコト
ニ對シテハ、私ハ最モ強ク賛成シタ
人デアルガ如ク、左様ナ場合ニハ餘リ
拘泥シナイデモ宜イト云フ考ヲ私ハ
持ッテ居リマス、殊ニ此一億何千萬圓ヲ
一般財源デ整理スルト云フコトハ、容
易ノ業デナイコトハ東郷君モ御諒察下
サルト思ヒマス、私ハ來年カ再來年ノ
間ニハ、是ハ交付公債トシテ、之ニ伴
フ利息ハ一般會計ノ經常財源カラ出サ
セテ、先以テ米穀法ノ此損失ヲ埋メテ
シマハナケレバナラヌ、何カ米穀法ト
云フモノハ或ハ道樂息子カモ知レマセ

第五類第五號 米穀法中改正法律案(政府提出)外一件委員會議錄 第十回
萬圓増額ニナツテモ、ソレハ瞬ク中ニ

○東郷委員 私ドウモ長タラシク説明
シタコトガ、或ハ宜クナカッタカモ知
レマセヌガ、色々御議論モアリ、米
穀法以外ニ御施設ニナツテ居ルコトハ、
先日來能ク承ッテ居ル譯デアリマス、唯
ソレガ吾々ノ思フ程ヤツテ居ナイト云
フコトハ、ソレモ已ムヲ得ナイコトデ
アリマセウガ、私ノ言フノハサウデハナ
イ、ドウ考ヘテモ今日ノ米穀法ト云フ
モノデヤツテ行クト、今度基準價格ノ設
定ニ關スル規定ヲ設ケテモ、今後所謂
食込ミニナリハセヌカ、或ハ今度八千

○町田國務大臣 能ク了解致シマシタ
ガ、今後ノ理想ト致シマシテハ、東郷
君ガ意見書ヲ出サレタ趣意ト同ジ考デ
アリマシテ、農業倉庫ノ普及、低利資

昭和六年二月二十五日

スガ、自分ノ道樂以外ニ親爺ガ會計ノ
立方ヲ誤ッテ呉レタガ爲ニ、道樂息子
ノ使ハヌ金ニデモ皆道樂息子ガ使ッ
ガ如キ此會計法ニ對シテハ、是ハ親爺
ヲシテ相當ナ責任ヲ負ハシテ、根本的
ニ之ヲ改正シタイト思ヒマス、動モス
レバ世ノ中ニハ米穀法ノ爲ニ一億五千
萬圓損シテ居ッテ、其效果ガ舉ラヌト
云フ議論ガアリマス、東郷サンニハ左
様デナイコトハ私ハ能ク承知シテ居リ
マス、併シ米穀特別會計ノ性質ヲ知ラ
ヌ人ハ、又米ヲ買ッテ又損シタト常ニ
言ハレルノデアリマスガ、其ヤリ方モ
慎シマナケレバナリマセヌガ、先日御
廻シシタ通り、米穀ヲ買入レタ爲ノ損
失ノ外、此會計法ノ立方ガ惡イ爲ニ、
玆ニ現レタ損失ノ金額モ相當多イ、此
改正ハ是非致シテ、假ニ是ハ道樂息子
トシテモ左様ナ濫費ヲシテ居ラヌ道樂
息子ニシタイト、私ハ米穀法ノ爲ニ希
望シテ居ルノデアリマス

○東郷委員 大臣ノ御考ハ能ク分リマ
シタ、私ハ先程申シマシタヤウニ誤解
ガアルトイカヌカラ申シマスガ、此特
別會計ガ非常ナ損失ニナッテ居ルト云
フコトゴドウノ斯ウノト云フ非難ハシ
ナイ、併ナガラ先程申シマシタヤウ
ニ、是ガ米穀國策ヲ遂行スル上ニ必要
ナラバ、損失モ少シモ差支ナイ筈デア
ル、デスカラ此損失ノ始末ヲシテ、運

行ガ能ク出來ルヤウニスルコトモ其處
ニ必要デアルノデアリマス、只今農林
大臣ノ言ハレタコトモ私が其點ヲ非難
スル譯デハアリマセヌ、併ナガラ事實
ニ於テハ、其道樂息子ト同ジヤウニ金
ガ掛ルコトニナッテ居ルノデアリマス
カ、農林大臣ハ此道樂息子ヲウントド
ウカスレバ、金ヲ使ハナクナルヤウニ御考
ヘカモ知レマセヌガ、私ハ是ハ勘當スル
ヨリ外ナイデハナイカト思フノデアリ
マスカラ、一層勘當シテシマッテ、新シ
ク農林大臣ハ奮發ナサッテ、立派ナ子供
ヲ御儲ケニナル方ガ宜イデハナイカト
思ヒマス、其御元氣ガナケレバ仕方ガ
ナイ、今ノ所其御元氣ガナイヤウデア
リマスカラ、私ハ是レ以上ハ注文致シ
マセヌ、ソコデ之ヲ勘當スル決心ガア
ルナラバ、私ハ是レ以上質問ハシナイ
積リデアリマスケレドモ、併シ此儘行
カレルトヤハリ此道樂息子ノ内容ヲ詮
議シナケレバナリマセヌカラ、是カラ
質問サシテ戴キマス

私ハ此米穀法ヲ存續スルト云フコト
ハ、差當リ根本ノ方策ガ立タヌ間ハ之
ヲ存續スルト云フノガ私ノ意見デスカ
ラ、米穀法ガ存續スル限リ其出動、基
準ヲ定メルト云フコトモ私異存ハゴザ
イマセヌ、是ハ調査會ニモ私其點ハ自
分ノ意見トシテ提案シテ居リマス、是
ハ異存アリマセヌ、サウシテ此米穀法

ノ目的ハ申上ゲルマデモナク、一面生
産者ノ利益ヲ擁護シ、一面消費者ヲ壓
迫シナイ、斯ウ云フヤウナ所ニ法ノ出
動ノ眞目的ガアルト私ハ考ヘテ居リマ
ス、是ハ何デモナイヤウナ事デスケレ
ドモ私サウ解釋シテ居ルコトハ差支ア
リマセヌカ、農林大臣ニ伺ヒマス

○町田國務大臣 只今ノ御尋ハ、此米
穀法ハ一面生産者ノ利益モ考慮シ、一
面消費者タル一般國民ト申シテ宜シイ
カ、消費者階級ノ生活ヲモ出來ルダケ
安固ニスル、此兩方面カラ見た米穀法
デアルカト云フヤウナ御質問ト了解シ
マシタガ、モウ左様ト固ク信ジテ居リ
マス

○東郷委員 ソコデ私今度ノ改正ノ内
容ニ付テ伺ッテ置キマス、今度ノ改正ノ
要點ハ生産費、家計費、ソレト簡單ニ
申シマスレバ率勢米價、此三ツヲ基礎
トシテ基準價格ヲ決メルト云フコトニ
ナッテ居リマスガ、ソコデ其中ノ生産費

ト家計費ノ調査、是ハ何時出來ルカト
云フコトニ付テ、先日來他ノ委員諸君
モ御尋ニナッタノデスガ、之ニ對シテ農
林大臣ハ何時ソレガ出來ルカハッキリ
ハ言ヘナイ、一兩年或ハ數年掛ルカモ知
レスト云フ御話デアリマシタガ、是ハ
重複シマスケレドモ、モウ一遍極ク簡
單デ宜シウゴザイマスガ、農林大臣ノ
御考ヲ御聽出來レバ伺ヒタイト思ヒマ

ス
○町田國務大臣 今ノ御尋ハ私ハ米穀
法運用ノ上ニ國民ノ一般ニ知ラシテ置
クニ必要ナ御尋ト自分モ信ジマス、御
承知ノ通り調査會ニ於キマシテハ長イ
間米穀問題ノ研究ト、又米穀法運用ニ
對スル責任ヲ負ウテ居ッテ上山委員ヲ
初メトシテ、此生産費生計費ノ調査ハ
少クトモ十年掛ルダラウト云フヤウナ
コトデ、率勢米價一本デ先ヅ當分ヤリ
タイト云フ意思ガ仄メカサレテ居ッ
コトハ御承知ノ通りデアリマス、併シ
私ハ左様ニハ考ヘマセヌ、ドウシテモ
出來ルナラバ率勢米價ト併セテ生産費
生計費ノ調査ヲ致シマシテ、之ヲ基礎
トシテ三十年間ノ米價ノ趨勢、人口ノ

増加等ニ依テ生ジタル率勢米價ノ趨勢
ヲ併セ斟酌シテヤリタイト、眞ニ私ハ
左様ニ考ヘテ居リマスカラ、出來ルナ
ラバ一兩年ノ間ニ調査ヲ完成シテ見ル
コトニ努力シタイ積リデアリマス、唯
何年ノ間ニ出來ルカト云フ、正確ナ年
數ヲ言ヘト云フコトハ、東郷サンデハ
ナツカタガ、何處カデ御質問ヲ受ケマシ
タガ、ドウモ年限ヲ私が責任ヲ持ッテ申
上ゲルマデノ確信ハマダ得ナイガ、眞
ニ努力シテ出來ルダケ之ヲ早クシタ
イ、是モ今後ノ言責トナッテハ如何カト
思ヒマスガ、二年位努力シタナラバ相
當確實ナ統計ガ得ラレハセヌカ、先ヅ

當確實ナ統計ガ得ラレハセヌカ、先ヅ

一年ヤツテ見マスレバ略、見當付クト思ヒマス、或ハ一年デ出来ルカモ知レ

ザイマセウ、相當參考ニナル期日ガ出ルノハ何時デゴザイマセウ

マセヌ、併シ餘程ノ努力ト經費ヲ要スルコト、思ヒマスガ、初メ一年ニシテ

○石黒政府委員 生産費、家計費ノ調

農家ニ配付シタ、三千バカリノ數デアリマスガ、此數ニ依テ生産費ノ内容ガ略、計數ニ現レテ來ハセヌカ、斯様ニ考

豫算ヲ請求スル手筈ヲ進行シテ居リマ

ヘマス、唯農具ノ固定資本ダトカ、銷却資本トカ云フヤウナコトニ對シテ、

ハ大體毎年ノ産米ニ付キマシテ出来ル

細カイ所ニハ餘程故障ガアラウト思ヒマス、併シ大體ハ一年ヤリマシタナラ

コトニナルノデアリマス、十一月ノ下

之ヲ法律ノ命令ノ上ニハツキリ用キタ形ニスルカセヌカハ別トシテ、出動ス

ト云フコトニ運バナケレバナラヌコト

ル場合ニハ、一年間ニ得タ統計ヲモ出動ノ參考位ニスルコトハ、無論致シマ

デ居リマス、併シ是ハ東郷サンノ十分

ス、出来ルダケ早クヤルト云フコトハ眞ニ私ハ左様ニ考ヘテ居ルト云フコト

十一月ノ末マデニ多數ニ互ッテ調上ゲル

ノ御諒承ヲ得タイノデアリマス

コトハ中々困難ナ事ダト思ヒマス、其

○東郷委員 生産費家計費ノ調査ハモ

實行ガ果シテ豫期ノ通り出来ルカドウ

ウ一兩年——二年モ努力シタラ相當確

カト云フコトニ付テ、只今大臣ノ言ハ

實ナモノガ出ヨウガ、出来ルナラバ一

ズ出来ルカドウカト云フコトヲ申上ゲ

年デモ見當付ケテヤツテ見タイト云

ルコトハ困難デアリマス、ソレデ一兩

フ御考ノヤウデアリマス、ソコデ私ハ

年ヤツテ見ナクチャ分ラヌト云フコト

事務當局——政府委員ニ御同致シマ

ラ申上ゲラレタコト、存ジマス

ガ、事務的ニ御處理ニナツテ、今度御提

案ニナツテ居ル調査ノ色々ノ方法ガ實

現スルコトニナツテ、之ヲ御出シナッ

タナラバ、事務的ニ御考ヘニナツテ、

一番早イ其結果ノ出ル期日ハ何時デゴ

フト、最初ノ結果ハ今年ノ詰リ十一月

下旬マデニ集計ガ出来ル、サウシテソ

カモ知レナイ、是ハヤツテ見ナケレバ分

レヲ御集計ニナツテ、何カ其處ヘ出シ得

ラナイノデス、サウスレバ、是カラ或

ル、是ガ一番近イ效果デアリマセウネ、

ル一定ノ方法デ御著手ニナリ、其結果

併シソレガ當テニナルカドウカ分ラヌ

ガドウ出ルカト云フコトモ、責任アル

カラ、一兩年掛ラナケレバ分ラヌト云

見當ハ付カナイ譯デアラウト思ヒマ

フ御意見デアラウト思ヒマスガ、事務

ス、サウスレバ非常ニ御奮發ニナリ、

的ニ御覽ニナツテモヤハリ、サウデアリ

御勉強ニナツテ、一年ナリ、二年ノ後其

マスカ……

結果ガ出ルト云フナラバ、サウ遠イ事

○石黒政府委員 其通りデゴザイマ

デモナイ、或ハ併シヤツテ見テ、五年、

ス、御手許ニ差上ゲマシタ本年ノ僅カ

十年モ經タナケレバ、連モ是ハ使フコ

ナ戸數ノ記帳調査、是モ實ハ中々困難

トハ出来ナイト云ッタヤウナ事ニナラ

デアッタノデアリマス、併シ是ハ兎モ角

ヌトモ限ラナイノデスガ、即チャツテ

モ調上ゲタノデアリマス、今度ハ數ガ

見ナケレバ、ドウモ分ラナイト云フコ

餘計ニナリマス、果シテ出来ルカドウ

トニナルノデスカラ、是ハヤハリヤツテ

カ、一年ヤツテ見マスレバ事務ノ當局

御覽ニナツテ、一年カ二年カ知ラヌケ

ト致シマシテモ、責任ヲ持ッテ必ズ仕

レドモ、兎モ角ヤツテ御覽ニナツテ其結

上ゲルト云フコトヲ申上ゲラレマス、

果ヲ見ル、サウシテ是ナラバ所謂生産

作上ゲタイト云フ希望ハ十分ニ持ッテ

者、消費者、兩面カラ觀察シテ適當デ

居リマスガ、マダヤツテ見ナイノデア

アルデアラウト云フヤウナ、其處ニ一

リマス、其點ガ未決ノ問題ニナツテ居

ツノ確實ナル結果ガ出ルダラウト思ヒ

ル譯デアリマス

マス、ソレガ出テ初メテ私ハ法律ヲ御

○東郷委員 私達ノ考カラ見マスレ

改正ニナルノガ適當デハナイカト斯ウ

バ、過去ニ於ケル生産費、家計費ニ關

考ヘルノデアリマス、何故ナラバ三ツ

スル調査等モ中々是ハ議論モアリマセ

ノ條件デ先程言ッタヤウニヤルノガ一番

ウシ、又中々困難ナル事情モアルコト

宜イノデアアル、斯ウ云フノデアリマス

デアラウト思ヒマス、デスカラ今大臣

カラ、其重大ナル要素ノ中ノ、生産費

ヤ石黒局長ノ御話ノヤウニ、一生懸命

ナリ、家計費ト云フモノヲヤツテ見ナ

オヤリニナツテ見レバ或ハ一年デ相當

ケレバ分ラナイ、先程仰シヤルヤウ

スルト云フ目安付カナイ中ニ、唯急イデ法律ヲ改訂シテ實行ノ出來ナイ法律ヲ御作リニナル、其通りナノデスカラ三ツノ條件デハ實行ガ出來ナイノデス、實行ノ出來ナイ法律ヲ急イデ作ル、サウシテ是デ以テ更ニ暫定法ヲ設ケテ行クナドト云フノハ、私ハ單ニ改正セシメガ爲メ改訂デアツテ、或ル意味ニ於テ國民ノ福利ヲ増進スル上ニハ關係ノナイモノデハナイカト、斯ウ云フ風ニ感ゼラレテナライノデスガ、之ニ對スル農林大臣ノ御所見ヲ承リマス

○町田國務大臣 私カラ申上ゲルマデモナク此暫定ノ方法トシテ、生産費生計費ハ取急イデヤルガ、ソレニ相當信頼シ得ベキ調査ガ濟マス前ニ當ツテ、既往三十年間ニ於ケル物價指數ノ平均ニ依ツテ得タル物價ノ趨勢、竝ニ特別ナル原因ニ依ツテ米價ノ趨勢ハ一般物價ノ趨勢デ違フト云フ事實ニ徴シテ、大ザツバニ申シマスレバ二割位ノ「レート」ヲ加ヘタ率勢米價ニ相成ツテ居ル、之ヲ生産費ニセヨ生計費ニセヨ急イデ調査スル間、之ヲ標準トシテ米穀法ヲ出動スルト云フコトハ、從來ノ如ク唯當局者ノ意向ニ委スト云フヤリ方ヨリモ、一般國民ニ向ツテ米穀法出動ノ場合ハ、斯様ナモノデアルト云フコトヲ知ラシテ置クコトガ適當ト思フテ、短日月デアリマスガ、其間率勢米價ニ依ツテ行クト

云フコトガ適當デアルト考ヘタノデアリマス

○東郷委員 繰返シテ申上ゲマスガ、此法律改正ノ精神ハ生産費家計費及率勢米價ノ三ツデ以テ、所謂最高最底ノ、出動スベキ基準價格ヲ定メルト云フノデアリマスカラ、ソレガ法律ノ精神デアアル、然ルニ其重大ナ法律ノ精神ノ一ツデアアル所ノ生産費家計費ト云フモノハ、ヤツテ見ナケレバ分ラナイノダ、イツ吾々ノ信頼スベキモノガ出ルカ、二年ナリ三年ナリ、一生懸命ヤレバ一年カ二年デ出來ルト云フガ、ソレハ分ラナイ、イツカ知ラヌガヤツテ見ナケレバ信頼スベキモノガ出ナイノダ、斯ウ仰シヤル、サウスルトヤツテ當テニナルカナラヌカ分ラヌヤウナ生産費或ハ生計費ヲ、此重大ナ法律改正ノ一要素ニ御加ヘニナツテ居ルト云フコトハ、非常ニ私ハ無理ナ法律デアルト思フノデス、ガカラ差當リ實行シナイ、實行スルコトガ出來ナイシ、又實行スルニシテモ調査シテ見ナケレバ確實ナモノ、信頼スベキモノガイツ出ルカ分ラナイ、過去ノ生産費家計費ノ調査カラ見テモ、色々調査ノ仕方ニ依ツテ、其出タ結果ハ色々違ツテ居リマス、現ニ昭和五年度ノ一石當リノ米ノ生産費ヲ見テモ、此間御示シニナツタ農林省ノ――是ハ確實デナイカモ知レナイガ、其御

調査ト、帝國農會ガ昭和五年ニヤツタ調査トハ相當其間ニ開キガアル、ソレハ調査ノ方法色々ナ點ガ違フカラサウナリマセウガ、サウ云フヤウニ過去ニ於テモ信頼ノ出來ルヤウナ生産費ガナイノデスカラ、今後モヤツテ見テ是ナラ宜イト云フ目安付ケルニハ、ヤツテ見ナケレバ分ラナイ筈デアアル、其ヤツテ見ナケレバ分ラナイヤウナ生産費家計費ト云フモノヲ基礎トスル一ツノ改正法律案ヲ御出シニナツテ、ソレガ出來ルマデハ、所謂特例トシテ暫定ノ率勢米價デオイデニナル、率勢米價デオイデニナルト云フコトガ宜イカ惡イカ御尋シタイガ、ソレマデニシテ御急ギニナル必要ハ私ハナイト思フ、是ハドウ云フモノデアリマセウカ、サウ云フコトデ宜イモノデアリマセウカ

○町田國務大臣 甚ダ遺憾ニ堪エマセヌガ、私ノ説明ガ足ラヌノカ知リマセヌガ、ソレハ御意見ノ相違ト申シマセウカ、是以上私ハ説明スルコトガ餘程困難デアリマス、唯御參考ノ爲ニ申シテ置キタイノハ、率勢米價一ツデヤルト云フト、何カ東郷サンニハサウ云フ御考ガナイカトハ思ヒマスガ、生産費生計費ヲ基準ノ一ツト加ヘズニ、率勢米價デ行クト云フト、米穀法運用ノ必要ヲ生ジタ場合ニ於テモ、農家ノ方ニ不利ダト云フヤウナ考ガ、農會側ノ方ニアル

コトヲ私モ承知シテ居リマス、東郷サンノ御心配ハ左様デナイカ知レマセヌガ、確カニ農會側ニハ左様ナ意味ガアリマス、率勢米價デ行ケバ十八圓幾ラ、吾々ノ計算デ行ケバ生産費ハ二十六圓ダト云フヤウナ意味ヲ聞イタコトモアリマス、併シ其點ハ私ハ左様ニ考ヘテ居リマセヌ、此三十年間率勢米價ニ於キマシテモ、既往十年間ハ米穀法ノ運用ニ依ツテ、相當米價ヲ維持シタ、其價ヲ維持シタ分量モ自ラ此率勢米價ノ中ニ入ツテ居ルノデアリマス、而シテ大體ニ於テハ從來ノモノヲ見マス、物價指數ノ趨勢カラ見マシテ、米價ノ動キハ多ク二割ノ範圍内ニ止ツテ居ルト云フ統計上ノ事實モアルヤウニ、私ハ大體諒解シテ居ルノデアリマスガ故ニ、三ツノ基準ガ正確ニ出來ヌ前ハ、暫ク之ヲ當局者ノ裁量ニ委スト云フ分量モナイトハ限リマセヌ、出動スル時ノ場合ニ於テハ當局者モ考ヘマセウガ、大體ノ基準ヲ茲ニ決メテ、其標準ニ依ツテ動クト云フコトハ、從來ノ如ク何等法律上ノ基準ガナカッタ場合ニ比較シテ、效果ガ多イ、此確信ハ私トシテハ根據ノアルコト、確ク信ジテ居ルノデアリマス、私ハ此質問應答ヲ是デ打切ル意味ハアリマセヌガ、是以上御説明ヲシテ御同意ヲ得ルコトガ、或ハムヅカシイノデハナイカト思ヒマスガ、結局意

見ノ違ヒニ歸スルヤウニ考ヘマス、モ
ウ一度改メテ御尋ネ下サレバ又御説明
ノ仕方モ出マセウト思ヒマス、先般來
屢々此問題ニ付テ申上ゲテ居ル吾々ノ
考方ハ、今ノヤウニ申スヨリ外アリマ
セヌ

○東郷委員 意見ノ相違ダト仰セラレ
マスガ、私ノ申上ゲタコトハ詰リ此法

律ノ精神ガ三ツノ要素デ以テ基準價格ヲ
決メル、斯ウ云フノガ原則デアリマス、
而モ其中ノ二ツノ重要ナ要素ハ米ノ生産
費及家計費カラ出タ米ノ價格、斯ウ云
フノデアリマスガ、ソレガ調べテ見ナ
ケレバドウ云フ確信ノアルモノガ出ル
カ出ナイカ、此處デハ分ラナイノデス
カラ、其分ラナイヤウナモノヲ基礎ト
スルヤウナ法律ハ急イデ作ル必要ハナ
イ、ソレガ調査ヲシテ適當ナ場合ガ來
テ、是ナラバ實ニ理想的ダト云フ時ニ、
始メテ法律ヲ作ル、斯ウ云フノガ私ハ
適當デハナイカト思フノデアリマス、
ソレハ意見ノ相違ダト仰シヤレバ意見
ノ相違デアリマスガ、然ルニ原則ヲ認
メテ置キナガラ、ソレヲ待タズニ法律
ヲ作ッテ、而モ暫定的ニ率勢米價一本デ
行カレル、是ハ先程申シマシタヤウニ
率勢米價ノ問題ハモウ少シ尋ネナケレ
バ、之ニハ賛否ガ表サレマセヌカラ、
後デ尋ネテ行キマスガ、率勢米價一本
デ急イデ行カレルト云フコトハ、ドウ

モ何カ他ニ重要ナ目的ガアルノデハナ
イカ、例ヘバサウ云フコトニスレバ出
動ノ場合モ比較的少クナッテ、金ノ方ノ
損失モ幾分カ是デ調節ガ出來ルダラウ
ト云ツタヤウナ、何カ特殊ナ目的デ以テ
御急ギニナルノデハナイカト思ヒマス、
何カサウ云フヤウナ御急ギニナル理由
ハゴザイマセヌカ

○町田國務大臣 左様ナ考ハアリマセ
ヌ、率勢米價デ行ケバ金ガ多ク掛ラヌ
カラ、率勢米價デヤルト云フヤウナ考
ガ假ニアルトスレバ、之ヲ言換レバ、
生産者タル農家ノ利益ノ或ル部分ヲ犧
牲ニシテ、特別會計ノ損失ヲ少クスル
立テ方ニ相成ルノデアリマス、私共ハ
三十箇年來ノ物價ノ趨勢、米價ノ趨勢
ニ依ッテ、是レ位ノ「ウェイト」ヲ率勢米
價ノ上ニ加ヘタ以上ハ、相當生産者ノ
利益ハ之ニ依ッテ擁護出來ルモノト云フ
確信ノ下ニヤッタノデアリマシテ、只今
ノ御尋ハ、之ヲ結果カラ見マスレバ、
國家ガ損失スル金高ガ多イカラト云ッ
テ、正當ニ保護シナケレバナラヌ、農
家ノ利益ヲ犧牲ニシタト云フ結果ニ相
成ル、左様ナ考ハ有ッテ居リマセヌ

○東郷委員 其出動ガ少クナルトカ、
ナラヌトカ云フ問題ハ、率勢米價ノ
方ヲ少シ御尋シナケレバ分リマセヌカ
ラ、今ノ御話ハ後廻シニシテ置キマシ
テ、私尙ホ御尋シタイト思ヒマス、ド

ウモ私ハ米穀調査會ノ委員トシテ、米
穀調査會ニ於テ是等ノ問題ガ研究審議
サレタ實際ニ鑑ミマシテ、詰リ率勢米
價一本デ取敢ズ行クト云ツタヤウナ所
マデ、此調査會ニ於ケル研究ノ結果ガ
落付クニ至ル迄ニハ、色々ノ紆曲折
ガアッタコトハ私ガ申上ゲル迄モナイ、
農林大臣能ク御承知デアル、是等ノ經
過カラ見テ、私ハ何ダカ信念ノナイ案
ノヤウナ氣ガ私自身致スノデス、デス
カラソレヲ少シ御尋シテ確メテ置キタ
イト思ヒマス、ト云フノハ政府カラ諮
問第二號ヲ調査會ニ御諮問ニナッタ場
合ニ、參考案トシテ御提出ニナッタノ
ガ、要スルニ先程來申上ゲマス三ツノ
要素デヤッテ行クト云フ案デアッタ、所
ガ之ニ對シテ上山委員カラ御修正ノ意
見ガ出マシタ、私ハ此處デ御斷リ申上
ゲテ置キマスガ、上山委員ノ色々仰シ
ヤッタコトヲ斯ウ云フ處デ申上ゲルコ
トガ宜イカドウカ、多少考慮シナケレ
バナラヌト思ヒマスケレドモ、上山委
員ニ對シテハ、農林大臣ガ調査會ノ席
ニ於テモ、公ノ席ニ於テ其他ノ機會ニ
於テモ能ク仰シヤッタ、上山委員ハ永
間農林當局トシテ、米ノ問題ニ付テハ
御苦心ニナッタ體験家デアリ、又大家デ
アルト云ツタヤウナコトヲ仰セラレテ上
山サンヲ御推舉ニナッタ居リマスカラ、
サウ云フ點カラ見ルト私ガ此處デ上山

サンノコトヲ申上ゲテモ、農林大臣モ
別ニ御不滿ハナカラウト思ヒマスカ
ラ、申上ゲテ見タイト思ヒマスガ、上
山サンハ先日農林大臣モ仰シヤッタヤ
ウニ、最初ニハ物價指數一本デ行クト
云フ御意見デアッタヤウニ思ヒマス、此
物價指數一本デ行クト云フコトガ、生
産者、或ハ消費者ニドウ云フ結果ヲ與ヘ
ルカト云フコトハ、私ハ茲ニ繰返シテ
説明申上ゲマセヌガ、サウ云フ意見ヲ
最初御出シニナッタ、所ガソレヨリモ
モット宜イノガ率勢米價ダ、斯ウ云フコ
トニナッテ、率勢米價説ヲ盛ンニ御唱道
ニナッタ、愈々諮問第二號ガ特別委員會
ニ移ッテカラ後ノ上山委員ノ御考モ、ヤ
ハリ其基礎觀念ハ、私ハ變ッテ居ナイ
ト思フ、ダカラ政府ガ參考案トシテ御
出シニナッタ三ツノ要素デ行ク案ニ、上
山サンハ反對シテ居ラレル、ソコデ率
勢米價一本デ行クト云フ御意見ガ出タ
ガ、ソレハ中々目的ヲ貫徹サレルコト
ノ出來ナイヤウナ情勢デアッタノデア
リマセウガ、更ニ上山委員ハ修正ノ意
見ヲ御出シニナッタ、最初ニ御出シニ
ナッタノハ大體ニ於テ率勢米價一本デ
行ク、取敢ズ一本デ行ク、サウシテソ
レト同時ニ政府ハ速ニ米穀生産費、及
ビ家計費ノ調査ニ著手シ、十箇年ノ資
料ヲ得タル時ハ、米穀生産費及ビ家計
費ヲ加味シテ適當ニ調節基準ノ改定ヲ

考慮スル、斯ウ云フ修正意見ヲ御出シニナツタ、ソコデ私ハ其時上山委員ニ御尋スルト同時ニ、之ニ對シテ反對ノ意思ヲ表明シタノデアリマスガ、生産費、生計費ヲ是カラ調査シテ、十年カ、ラナケレバ當テニナラナイト云ツタヤウナ永イ話デハ、吾々ハ賛成シ兼ねル吾々ハ當分之ニ代ルベキ適當ナ方策ガナイ間、米穀法ト云フモノヲ存續セシメルケレドモ、是ハ速ニ、根本的ニ米穀對策ヲ攻究シテ行カナケレバ、今日ノ此行詰ツタ米穀政策ハ打開ガ出來ナイ、ダカラ十年先マデ米穀法ガ此儘行カウトハ吾々ハ信ジテ居ナイ、ダカラ十年先ニナツテ生産費ヤ家計費ヲ此法律ニ加味スル、所謂政府原案ノヤウニ三ツノ要素デ行クト云ツタヤウナ修正案ニハ賛成ハ出來ナイト、私ハ斯ウ云フ意味ニ自分ノ反對意思ヲ表明シテ置イタノデアリマスガ、是ガ上山サンガ最初修正案ヲ出サレタ案アル、所ガ之ニハ中々議論ガ多カッタ、西村委員長モ當時ノ調査會委員トシテ、御記憶ニナツテ居ルト思ヒマスガ、詳シイコトハ申上ゲマセヌ、更ニ上山サンハ、イヤ十年デナクテモ宜イ、五年位ハドウシテモカ、ルト云フコトヲ讓步サレタ、ソレカラ今度ハ本則トシテハ三ツノ要素デ行クト云フコトヲ認メテ、サウシテ暫定的ニ率勢米價デ行クト云フナラ

バ、一ツ賛成ヲシテモ宜イト云ツタヤウナ空氣モ、ソコカラ出タヤウデスガ、ソコデ上山委員ハ遂ニソレニ讓步サレテ行カレタモノト思ヒマス、私ハ最後ノ決定ノ時ハ不幸ニシテ郷里ヘ行ッテ、病氣ヲシテ間ニ合ヒマセヌデシタガ、サウ云フヤウニナツテ上山サンハ又讓步サレテ、サウシテ今日ノヤウナ原則ハ三要素デ行クガ、暫定的ニ率勢米價デ行クト云ツタヤウナコトニ讓步サレテ、ソレガ特別委員會ニ於テ議決サレ、總會ニ於テモ可決サレタモノデアルト考ヘマス、サウスルト私ハ上山サンノ意思ハ付度スルコトハ出來マセヌケレドモ、要スルニ非常ナ熱心ナ率勢米價一本デ行クト云フ主張ヲ讓リ、而シテ米ノ生産費ナンカト云フモノハ分ルモノデナイ、一石百圓掛ルモノアレバ、一石ズツト安イ僅カシカ掛ラヌモノモアル、ドウシテ米ノ生産費ガ調ベラレルモノカト言ッテ、非常ニ反對ノ意思ヲ持ッテ居ラレタ上山サンガ讓步シテ此處マデ來ラレルト云フノハ、ドウシテモ何カ其處ニ讓步ニ讓步ヲ重ネテ行カナケレバナラヌ理由ガアツタンデハナイカト、斯ウ察セラレ、デハハ謂ハハ上山サンノ信念ニハ反シテ居ル一ツノ案ガ其處ニ現レタンデハナイカ、謂ハハ非常ナ妥協案、即チ色々ノ意見ヲ折衷シタ妥協案デハ

ナイカト思フ、妥協案ガ徹底シナイト云フコトハ當然デヤナイカト思フ、隨テ出來タモノガ非常ニ不徹底ナモノニナツテ來タヤウニ私ハ考ヘマスガ、私ノ此考ガ誤ッテ居ルカドウカ、私ハ斯ウ考ヘルト、其處ニ非常ニ不徹底ナ或ル要素ガ殘ッテヤセヌカト考ヘテ居リマスガ、農林大臣ノ御所見ハ如何デアリマスカ

○町田國務大臣 只今ノ御質問ニ對シテ私ハ御満足ヲ得ルヤウナ答辯ハ餘程困難カト思ヒマス、併シ先刻カラ申上ゲマシタ通り、基準ノ三要素ヲ完備シテ、初メテ根本的改正ノ本體ガ出來ルノデアアル、故ニ上山サンハ氣ニ入ルカ氣ニ入ラヌカ知レマセヌガ、私共ハ算定方法トシテ之ヲ附則ニ規定致シマシテ、一日モ早く三要素ニ依テ行キタイガ、ソレニ行ク間ノ的確ナル調査ヲ得ルマデノ間、急イデモ一年二年ト申シマスカ、何ト云フ言葉ガ宜イカ、餘程急ギマシテモ少クトモ一兩年ハ掛ルヤウニ思フ、ソレデハ其間何等ノ基本モナクシテ參ルカト言ヘバ、相當生産者ノ立場ニ重キヲ加ヘテアル所ノ率勢米價ナルモノニ依ッテ、茲ニ一定ノ基準ヲ暫定的ニ作ルコトハ、今回ノ改正ノ要旨ニ適フモノト斯様ニ信ジマス、上山君ノコトニ關スル色々ナ御付度ノ御話モアリマシタガ、私モ大體東郷君ノ仰

シヤル通り、上山君ハ初ハ物價指數一本デ行クト云フヤウナ考ヲ持ッテ居ッタヤウデアリマシタ、併シ私共ハ是ニハ初カラ同意致シマセヌ、更ニ進ンデ上山君ハ附則ニ掲ゲタ算定ヲ本則ノ中ニ入レテ、而シテ生産費、生計費ノ調査ハ十年位掛ルヤウナ意味ニ於テ、當分ノ間ハ率勢米價一本デ行ッタ方ガ宜カラウト云フ考ガ上山君ニ在ッタヤウデアリマス、是ニモ吾々ハ同意セズ、委員ノ多數モ同意セナカッタ、斯ル案ノ出來マシタノハ特別委員長タル前田子爵ノ日夜ノ御苦心御努力デアリマシテ、其御努力ガ吾々ノ満足スル成案ヲ得タコト、思ヒマス、私モ委員外デハアリマシタガ、努メテ特別委員會又ハ小委員會等ニモ出席シテ、各委員ノ意見モ傍聽致シテ參考ト致シテ居リマシタガ、斯ル結果ヲ得タニ付テ何カ他ノ事情デモアルカノ如キコトニ付テハ、私カラ何トモ申上ゲ兼ねマス、誤解ガアリマシタナラバ、努力セラレテ成案ヲ得マシタ前田子爵ニ、場合ニ依ッテハ私カラ問質シタラ御満足ヲ得ルヤウナ御返事ガ出來ルカモ知レマセヌガ、大體ハ東郷君ガ郷里ニ御歸リニナツタコトモ承知シテ居リマス、特別委員會等ニ始終御出席ニナツタ東郷君ハ、私共ガ提案シタ此理由ニ對シテハ御諒解下サルコト、思ヒマス

○山田政府委員 私ノ出ル幕デハナイ
カモ知レマセヌガ、默シテ居ルト他日
ノ何カニ殘ルヤウナ憂ヲ私持チマスノ
デ、一言私モ當時ノ特別委員デゴザイ
マスシ、事情ヲ能ク存ジテ居リマスカ
ラ、明カニ其間ノ事ヲ申上ゲテ置キタ
イト思ヒマス

東郷君ハ何カ御留守中ニ暗闇細工デモ
アッタヤウナ意味ノ御言葉デアリマス、
暗闇細工トハ仰シヤイマセヌデシタガ、
何カ事情ガアルガ如キ御問デアリマシ
タ、ソレハ委員デナイ農林大臣モ特ニ
當時ノ前田委員長ニ御尋シテモ宜イカ
ノ如キ御答デアリマシタガ、此間ニハ
情實モ因縁モ何モゴザイマセヌ、唯上山
サンノ最初ノ御説ガ、多數委員諸君ノ
正シイト申シマスカ、何ト申シマスカ、
意識アル説ニ依ッテ段々同化サレタト
云フコト以外ニハ何ニモナイノデゴザ
イスマカラ、餘計ナ事デアルカモ知レ
マセヌガ、此際明カニ致シテ他日問題
ノ起ラヌヤウニ致シタイト思ヒマス

○東郷委員 只今山田參與官カラノ御
話デアリマスガ、所謂今ノ第二ノ諮問
案ニ對スル米穀調査會ノ答申案ガ、私
ノ留守中ニ何カ遺線ヲシテ出來タヤウ
ニ私ガ考ヘテ居ルヤウニ今御話デス
ガ、私ハサウ云フ考ハ決シテ持ッテ居
リマセヌ、チットモソナ考ハナイノデ
ス、私ノ留守ニ何トカ遺線シテ斯ウ云
フ案ガ出來タト云フヤウナコトハ夢ニ
モ思ッテ居ナイ、併ナガラソレハ甚ダ誤
解デスカラ、サウ云フ事ガ記録ニ殘ッ
テ居ルト云フト、後デ只今以上ノ問題
ガ起ルカモ知レマセヌカラ、明瞭ニシ
テ置キマス、私ハサウ言ッタノデハナ
イ、是ガ斯ウ御決定ニナッタニ付テハ、
上山サンハ最初此問題ヲ最モ熱心ニ主
張サレテ居ル、其上山サンノ主張ガ變
テ來テ此處マデ來タ、總會ナドニモ如
何ニモ熱烈ニ生産費ナンカト云フモノ
ニハ反對シテ居ル、其上山サンガ賛成
スルノニハ其處ニ妥協ガアッタと思フ、
所謂妥協案デアアル、斯ウ云フ感ジテ私
ハ申上ゲタンデアッテ、何モ私ノ留守ニ
農林當局ヨリ暗々裡ニ遺線ヲナサッテ、
斯ウ云フ案ガ出來タト云フ考デ御尋ス
ルノデハナイ、ソレヲハッキリシテ置
ク、山田君モ誤解ニナッテハ甚ダ困ル、
此案ガ此處マデ來ル經過カラ見テ、ド
ウモ其處ニ物足ラヌ點ガアルカラ申上
ゲタノデアリマスカラ、ソレハハッキリ
シテ置キマス

○山田政府委員 サウ云フ御考デアレ
バ結構デアルガ、妥協ト云フ言葉モ私
ハドウカト思ヒマス、アノ時ハ要スル
ニ多數決デアッタノデアリマス、決シテ
妥協デハナッカッタト私ハ認メテ居リ
マス

ナッタコト、思ヒマス、ソナコトヲ仰
シヤルト裏面ノ事ヲ言ハナケレバナラ
ヌ、併シサウ云フ私ノ事ハ言ヒタクハ
アリマセヌカラ申上ゲマセヌ、是ハ確ニ
妥協案デアアルト私ガ申上ゲテモ宜イト思
フ、ソレヲ仰シヤルト云フナラ言ヒ
マスガ、記録ニ留メタクナイカラ言ハ
ナイガ、上山サンガ讓歩ニナッテ、他ノ
委員ノ諸君モ讓歩ニナッテ、研究ノ結果
ガ其處ニ落付イタノデスカラ妥協ニハ
違ヒナイ、併シソレヲ何トカ仰シヤル
ト私モ言ハナケレバナラヌコトニナル
ノデスガ、私ハサウ云フコトハ言ヒタ
クハナイ、ソレカラ採決ハ多數デ御定
メニナッタコトデ、私ハ其結果ニ不服ハ
言ヒマセヌ、自分ハ自分ノ病氣ノ爲ニ
採決ニ加ハリ得ナッカッタコトハ、甚ダ遺
憾ニ思ッテ居リマス、デアアルカラソレハ
全ク別デアリマスカラ、ハッキリ致シテ
置キマス、ソコデ私進ンデ御尋致シマ
スガ、詰リ率勢米價一本デ行クトガ
必要ダト農林當局ハ御認ニナッテ御居
デノコト、思ヒマスガ、私ハ米穀調査
會ノコトヲ茲ニ繰返ス必要ハナイガ、
私不幸ニシテ採決ニ加ハリマセヌデシ
タガ、私ガ最後ノ採決ニ加ハッタナラ
バ、率勢米價一本デ行クナラバ、私ハ
賛成シマセヌ、ソレハ別ト致シマシテ、
取敢ズ率勢米價デ行クト云フ必要ヲ御
認ニナッテ御提案ニナッタ、ソレモ宜シ

イガ、私ハ率勢米價ニ付テ尙ホ御尋致
シタイト思フ、此間率勢米價ニ付テハ
所謂米價ノ趨勢ヲ直線的ニ現スモノダ
ト云フコトヲ御認定ニナリ、而シテ其
結果最小自乘法ヲ御利用ニナッテ、今日
ノ率勢米價ナルモノガ出タニ付テ、安
藤博士ガ御出デ下サッテ、御説明下サイ
マシタケレドモ、マダ私共ハハッキリ了
解ガ出來ナイノデアリマス、ソコデア
ノ時分ニモ専門ノ擔任ノ方ガ御出席ノ
場合ニ、更ニ御尋スルコトニシテ、質問
ハ保留シテアリマスガ、今日モ恐ラク
御見エニナッテ居ナイト思ヒマス、デス
カラソレヲ御尋シナケレバ私共ハハッ
キリシタコトハ分リマセヌ、隨テ其根
本ニ付テハ今日ハマダ了解ガ出來マセ
ヌケレドモ、ソレハ御擔任ノ専門家ノ
御出デニナル機會マデ質問ヲ保留シテ
置クコトニシテ、本日ハソレハ分ラヌ
カラ其儘ニシテ置キマスガ、ア、云フ
モノデヤッタ場合ニドウナルモノカト
云フコトヲ假定シテ、私ハ色々ノ事ヲ
御尋シテ見タイト思ヒマス、其意味デ
御答ヲ願ヒマス

基準價格算定ノ方法トシテ、率勢米價
一本デ御進ミニナルト云フコトデアリ
マスガ、之ニ付テ私ハ色々ノ疑問ヲ持ッ
テ居ルノデアリマス、第一ニ先日總理
大臣代理ニモ御尋致シマシタガ、我國
ノ米穀政策ノ根本方針ハドウ云フ風ニ

御考ヘニナルカ、御話ニ依ルト、第一ニハ米ヲ内地デ出来ルダケ生産スルヤウニ努メルノダ、其次ニハソレデ足ラヌ所ヲ植民地カラ仰グ、尙ホソレデモ足ラヌカ、或ハ特別ノ需要ニ應ズル爲ニハ、外米ヲ輸入シテ行ク、大體斯ウ云フ方針ニ考ヘテ宜イカト云フコトヲ御尋シタ所ガ、其通りダト仰セラレタ、サウシテ總理大臣代理ハ色々外國ノ例モアルガ、國防ノ關係云々ト云フ御話モアツタ、私ハ非常ニ同感デアル、私ガ多年自分ノ主張トシテ居ル所ニ、首相代理ノ御意見モ一致シタコトヲ私ハ非常ニ愉快ニ感ズルノデスガ、サウスレバ内地ノ米ノ問題ヲ考ヘ、米價ノ問題ヲ考ヘル場合ニハ、此特異性ニ最モ重キヲ置カナケレバナラヌ、國民ニ安イ食料ヲ與ヘル、何處カラデモ世界中カラ安イ物ヲ持つて來ルト云フ方針デアレバ別デスガ、サウデハナイ、日本人ノ必要トスル食料ハ出来ルダケ内地デ作ラナケレバナラヌ、ソレガ國策上必要デアルト云フナラバ、先ヅ内地ノ米作ヲ農家ノ經濟ガ持テルヤウニシナケレバナラヌ、其經濟ガ持テル基礎ハ何處カト云ヘバ、生産費ヲドウシテモ忘レテハナラヌ、是ガ私ハ米價調節ノ基礎ダト思フ、ソコデ政府ニ於カレマシテモ、今度ノ基準價格ヲ御設定ニナル場合ニ於テ、此生産費ト云フモノニ、非常ニ重キヲ置カ

レタコトモ、其處カラ出テ來テ居ルダラウト思フ、所ガ此率勢米價決定ノ要素ニハ、生産價格ト云フモノガ全然度外視シテアルヤウニ私ハ考ヘル、若シ私ノ考ガ間違ッテ居レバ御意見ヲ承リマスガ、全然生産價格ト云フモノガ度外視サレテ居ル、何故ナラバ此率勢米價ハ日本銀行ノ明治三十三年ノ所謂物價指數ト米價指數トヲ對照シテ、ソコニ米價率ガ出ル、其米價率ト云フモノハ、一定ノ傾向ヲ以テ直線的ニ年ト共ニ進ムモノト認メラレ、此傾向即チ趨勢値ハ最小自乘法ヲ當嵌メテ算出シタノデアル、サウシテ之ヲ其基準トシテ、率勢米價ガ出タノデアリマス、所ガ最初ノ米價率ヲ出ス所ノ要素ノドレヲ見テモ、私ハ米ノ生産價格ト云フモノガ含マレテ居ナイヤナウニ思フノデアリマス、其通りダト私ハ信ジテ居リマス、サウスレバ最後ニ出タ所ノ率勢米價ト云フモノハ、全然米ノ生産費ヲ考慮ニ入レテ居ナイ、其處ニ先ヅ私ハ大キナ缺點ガアルデヤナイカ、少クトモ日本トシテハ、日本ノ食糧政策ガ、内地デ出来ルダケ米ヲ作ルノダ、是ガ國策上必要ダト云フノナラバ農家ノ經濟ヲ成立タセルニハ生産費ト云フモノニ最モ重キヲ置カナケレバナラヌ、然ルニ率勢米價ニハ其生産費ト云フモノガドウモ含マレテ居ナイト云フコトナラバ、

率勢米價一本デ行クト云フ此基準價格ノ設定ハ、農家ノ生産ノ立場カラ見テ、非常ニ其處ニ缺點ガアルト斷定セザルヲ得ナイノデアリマスガ、之ニ對シテ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○石黒政府委員 物價指數ト米價指數ヲ日本銀行ノ調査デ割合ヲ取りマシテ、所謂米價率ト云フモノヲ出シテ、ソレガ基礎ニナッテ居ルノデアルカラ、ソレニ依ッテ出テ來タ所ノ率勢米價ト云フモノニ付テハ、生産費ヲ考慮シテ居ナイト云フ風ニ只今仰シヤッタヤウニ思ヒマス、私ハ或ル程度ニ於テ生産費ガ自然其中ニ這入ッテ來テ居ルモノト考ヘテ居ルノデアリマス、其事ハ先日ヤハリ同ジ問題デ原サンカラ御質問ガアツタト思ヒマスガ、其際米價指數ハ物價指數ヨリ幾ラカ高クナッテ居ルノデアルカラ、ソレヲ認メタカラ宜イト云フガ、全體物價指數ノ中ニハ工業品ノヤウナ生産費ヲ段々減少シテ行クモノガ多分ニ這入ッテ居ル、而シテ米價ノ指數ト云フモノニハ、是ハサウ云フモノニ比シテ生産費ハ農事改良ハヤッテ居ルカ知レヌケレドモ、サウ安クシテ行ク譯ニ行カヌト云フコトガアルカラ、其開キガアルデヤナイカト云フ御尋ガアリマシタガ、私其通りニ考ヘテ居リマス、但シソレノミガ原因デ高クナッテ居ルトハ申シマセヌガ、ソレト米

ニ對スル需要ノ緊切ト云フコトガ之ヲ現シテ居ルノデアリマシテ、確カニ仰シヤル所モ此中ニハイッテ居ルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、私ハ左様ニ此米價率ヲ諒解シテ居リマスノデ、委員ノ方ノ中ニモ、此點ニ關シテハ、既ニ米ノ生産費ガ、相當ノ程度ニ於テ含マレテ居ル、間接的ニ影響シテ居ルト、斯ウ御認メ下サッテ居ル方モアラレルヤウニ思ヒマス、私ハ左様ニ解釋ヲシテ居リマスカラ、之ニ基キマシテ出シマシタモノニモ、ヤハリ米ノ生産費ト云フコトハ、間接ニ現ハレテ居ルコト考ヘテ居ルノデアリマス

○東郷委員 今ノ御話カラ言ヘバ、所謂總テノ物價ト云フモノハ、其物價ノ定マル基礎ニハ、生産費ト云フモノガ必ズ考慮ニ入レラレテ居ル、斯ウ云フヤウナ、所謂「プライス」ノ經濟原則カラ言ヘバ、無論サウ云フ意見ハ立チ得ル譯ナノデアリマス、併シソレハ總テノ場合ニサウ考ヘルコトモ出来ナイ、即チ物價ハ生産費ヲ割ッテ、生産費以下ニ在ルコトモ非常ニ多イノデアリマスカラ、ソレダカラ所謂日本銀行ノ調査ノ物價指數總テガ、今仰セラレルヤウナ意味ニ解釋スル譯ニハ私ハイカヌト思ヒマス、理窟ハサウデス、物價ノ決定ノ要素トシテ、生産費ト云フモノハ必ズ關係ガアルト云フコトハ事

實ダガ、併ナガラ實際ソコニ現レタ物價ト云フモノハ、生産費ヲ割ッテ居ル場合モ多イノデスカラ、ソコニ出タ色色ナ物價指數ノ中ニ、明瞭ニ生産價格ト云フモノガアルト云フ斷定モ亦下シ得ナイト私ハ思フノデアリマス、ダカラソコニ先ヅ第一ニ此生産價格ト云フモノヲ度外シテ居ルト云フヤウナ考ガアリ得ルト私ハ思フノデアリマス、ダカラソコニ一ツノ缺點ガアルノデハナイカト云フ私ハ疑問ヲ持ッテ居ルカラ、其疑問ヲ政府委員ニ質ス譯ナノデアリマス

○石黒政府委員 或ル時ノ價格、生産費ヲ價ハナイ價格ガ、有ユル物價ニ於テ、品々ニ付テ現ハレテ來ルト云フコトガアルコトハ、御説ノ通りデアリマス、故ニ長イ期間ヲ取りマシテ、騰落ノ程度ヲ長ク見マシテ、サウシテ趨勢ヲ出シマシテ、茲ニ基本米價ニ換算ヲ致シマシテ、率勢米價ナルモノヲ出スノデアリマス、故ニ此意味ニ於テ、長イ期間ヲ取りマシタコトニ依ッテ、只今ノ御話ノヤウナコトハ、是正セラレテ行クコト、考ルノデアリマス、併ナガラ生産費ト云フモノガ現レテ來テ居ルノハ、理論上ハ、是ハサウデアラウト云フコトヲ仰シヤイマシタガ、私モ其意味デアリマスルガ故ニ、是ガドノ程度ニ加ッテ居ルカト云フコトニ付キ

マシテハ、マダ生産費ノ方ヲ考慮スル程度ガ足りナイト云フ御説ハ、是ハモウ立テ得ルコトデアラウト考ヘルノデアリマス、吾々モソレハ相當考ヘナケレバナラヌ點ダト思ヒマス、故ニ生産費ヲ、ソコニ於テヤハリ考慮ノ中ニ入レルコトガ、ヨリ宜シイト云フコトヲ考ヘマシタガ故ニ、生産費ノ調査ヲ片方ニ致シマシテ、サウシテ其兩者ヲ見較ベマシテ、適當ナル程度ニ於テ、最低價格ヲ決定スル、斯ウ云フコトニナッテ居ル譯ナノデアリマス

○東郷委員 大體ニ於テ農務局長ハ、私ノ申シタコトヲ御諒解下サッタヤウデスガ、農務局長ハ、率勢米價ト云フモノニ、生産費ヲ考慮スルコトガ非常ニ少イト云フコトハ認メル、デアアルカラ今度ノ基準ヲ決メル場合ニ、生産費ト云フモノニ、非常ニ重キヲ置イテ、要素ニシタノダト仰シヤル、其通りデアルト思フ、其通りデアアルカラ、私ハ申上ゲルノデアアル、其重大ナ生産費ト云フモノヲ加ヘナイデ、暫定的ニ此生産價格ト云フモノヲ、殆ド或ル意味ニ於テ、値打ガソコニ現レルコトノナイヤウニ、要素カラ割出シタモノダゲデ行クト云フコトハ、吾國ノ此國策ノ上カラ、生産費ニ重キヲ置カナケレバナラス、此米價ヲ決定スル上ニ於テ、ソコニ非常ナ缺陷ガアリハセヌカト、

斯ウ云フコトヲ申上ゲタノデアリマス ○町田國務大臣 私カラ申スコトハ或ハ必要ガナイカモ知レマセヌガ、今米穀買入ノ場合ニ於テハ、率勢米價カラ二割下ト云フコトヲ限ッテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、其場合ニ於キマシテハ、或ハ多少生産者ノ方ニ、餘リ利益デナイ場合モ生ジ得ラル、ト思ヒマス、同時ニ是モ御考ヘ下サイ、米ノ高イ時ニハ、率勢米價カラ二割上ル間ハ——若シ率勢米價ヲ中庸ヲ得タモノトスルト、ソレカラ二割上ル間

ハ、生産者ハ消費者ニ對シテ、餘程有利ナ地位ニ立ッテ居ルノデアリマス、例ヘバ先般マデアリマシタ米ガ二十二圓——率勢米價デアリマス二二十七八圓マデ米ガ高クナッテモ、消費者ノ方ハ之ニ耐ヘ忍ブト云フ譯合ニナルノデアリマシテ、其場合ハ生産者ハ非常ニ有利ナ地位ニ立ッテデアリマス、多少ハ今日ト雖モ一年ノ間ニ米ノ騰落ガ、政府ガ米穀法ノ出動ガナイ場合デモ、相當ナ幅マデ米價ガ騰落スルノデアリマス、其騰落ノ度毎ニ米穀法ガ出動スル譯ニ參ラヌコトハ申スマデモアリマセヌカラ、今後生産費、生計費ノ調査ガ出來マシタ時ニハ、率勢米價ト併セテ、茲ニ一定ノ價格ヲ定メルガ、當分年間既往ノ趨勢ヲ見マシテ、之ガ爲ニ

或ハ農家ノ不利益ガ、非常ニ生産費ヲ割ッタ爲ニ、或ハ耕地ノ擴張ガ行ハレナカッタト云フヤウナ事實ガアリマセヌノデスカラ、恐クハ生産費、生計費ヲ、相當ナ程度ニ調査シテモ、結局ハ或ル範圍ノ間ニ於テ、此點ハ達觀スルヨリ仕方ガナイノデアリマス

○東郷委員 今ノ農林大臣ノ御話ハ、私ガ御尋シタコトノ範圍ヲ少シ脱シテ居ラレルヤウニ思ヒマス、私ハ是カラ率勢米價ガ上二割下二割ト云フ問題ハ段々御伺シテ行ク積リデアリマスガ、率勢米價其モノニ、今言ッタヤウナ缺點ガアリハシナイカ、斯ウ云フコトヲ確メテ置ケバ宜イノデス、其要素ガ出テ、上二割下二割云々ト云フコトハ、段々はカラ御伺シテ見タイト思ヒマス

○胎中委員 只今ノ東郷君ノ質問ニ關聯シテ御尋ネ致シタイ、農林大臣ニ先日原君ガ質問サレタ、日本銀行デ調べタ物價指數ト云フモノニ「ウエイト」ガ加ッテ居ルカドウカ、ソレガ完全デアルカ、斯ウ云フ質問ニ對シテ、農林當局ハ、ソレハ缺點ガアルト見ル、併シ此場合之ヲ用ヒルノハ、日本ニハ是ヨリ外ニ良イ方法ガナイカラ用ヒルト云フコトデアリマス、其次ニ、然ラバ今度ノ率勢米價ノ割出ニ付テハ「ウエイト」ガ加ッテ居ルカドウカ、此間ニ對シテハ、農林大臣ハ「ハッキリ「ウエイト」

ガ加ハッテ居ル、斯ウ仰シヤル、今又東郷君トノ質問應答ヲ聽イテ居リマスト云フト、農林大臣竝ニ石黒政府委員ノ御答ニ依リマスト、米ノ生産費ト云フモノガ加ッテ居ル、要スルニ「ウエイ」ト云フモノガ考慮サレテ居ル、斯ウ云フ風ニ私共ハ聽イテ居ル、所ガ實ハ此問題ハ、原君モ隨分質問ヲ致シマシタシ、東郷君モ今質問應答ヲセラレテ居リマスガ、是ハ此改正法律案ノ重點ダラウト私共ハ考ヘテ居ル、隨テ是非非常ニ重要デアリマスガ、原君ノ質問ニ對スル御答モ、今亦東郷君ニ對スル御答モ、私共ニハ本當ニ満足出來ナイ、明瞭ニナラス、デアリマスカラ、

フコトニナッテ御満足デアラウト思ヒマスカラ、ドウゾ此事ヲ一ツ御願ヲ致シマス

テハ、安藤君ニヤハリ參加シテ貰ッタノデアリマス、ソレハ日附ヲ示シテ申上ゲテモ宜シウゴザイマスガ、而シテ其算數ニ當リマシタノガ其當時ノ新井技手、今日ノ新井技師デアリマス、サウ云フヤウナコトデアリマスカラ、無論事ニ當リマシタノハ新井技師ガ當リマシタト云フコトヲ申上ゲラレルノデアリマスガ、唯今病氣デ休ンデ居リマシテ參上スルコトガ出來ナイノデアリマス、左様ナ譯デアリマスカラ、安藤場長ニ來テ貰ッテ説明ヲ致サセマシタ、即チアノ研究ヲ致シタ者ノ一人ガ此處ヘ來テ説明ヲ申上ゲタト云フ風ニ御諒解ヲ願ヒタイ、御進行ヲ願ヒマスニ付キマシテ、若シ必要デゴザイマスナラバ安藤技師ヲ又呼ビマス

ニナルニハ宜カラウト考ヘマス

是ガソレ程重要ナモノデアリマスナラバ——ト言ッテ此速記ヲ見レバ宜シイノデアリマスガ、中々速記ハ直グ明日ト云フ譯ニハ行キマセヌ、ソコデ只今東郷君ニ御答爲サレマシタヤウナ、詰リ今回御定メニナラウトスル此率勢米價、之ニ米ノ「ウエイ」ト「ガド」ノ程度ニ加ッテ居ルカ、ドウ云フ風ニナッテ居ルカト云フコトヲ甚ダ恐縮デアリマスガ、明日デモ書キ物ニシテ御出シテ願ヒタイ、サウスレバ委員ハ御話ノ上デハドウモ腹ニ入ラヌ點モ、其書キ物ヲ見テ、篤ト腹ニ入ルト云フ場合モ起ラウト思フノデアリマス、サウスレバ政府側ニ於テモ、皆ニ満足ヲ與ヘルト云

○東委員 今ノ事ニ關聯シタコトデスガ、唯今胎中君カラノ動議ノ如ク、私共ハ是非サウ云フコトニ願ヒタイト思ヒマス、是ガ問題ノ重點デアラウト思フ、尙ホソレニ付加ヘテ申シタイノハ、先達テ安藤博士ニ來テ講演ヲシテ戴イタケレドモ、吾々ニハ一向分ラナイ、ソレハ頭ガ惡クテ分ラヌノデアリマスカラシテ、甚ダ恐縮デアリマスガ、之ヲ本當ニ立案ヲシタノハ農林省ノ荒井技師ガサウデアリマス、其荒井技師ハ風邪ヲ引イテ出ラレナイト云フノデスガ、若シ出ラレルナラバ委員會ノ進行ノ模様ニ依リマシテ、三十分デモ一時間デモ來テ貰ッテ、モウ一遍御説明ヲ願ヒタイ、サウ云フコトハ保留サレテ居ッ

○東委員 新井君ハ病氣ナンデスカ

○胎中委員 ヤハリ其コトデ此場合一言申上ゲテ政府當局ノ御考慮ヲ煩シタ

○石黒政府委員 先日私ガ一寸居リマセヌ間ニサウ云フ御話ガアッタラシク承ッタノデアリマス、私ガ居リマシタナラバ、一應申上ゲテ見タイト思ッテ居リマシタガ、此率勢米價ノ研究ヲ致シマシタ際ニ、其研究ニ參加シテ貰ヒマシタ人ガ役所ノ中ニアルカト云フ御話ガアリマシタカラ、二人ノ名前ヲ舉ゲテ申シマシタガ、役所ノ内部ニ於キマシ

○石黒政府委員 先般ノ米買上ノ時ニ非常ニ無理ヲ致シマシタノデ三十九度カラノ熱ヲ出シテ休ンデ居リマス、ソレトモウ一ツ申上ゲテ置キタイコトハ新井技師ハ安藤博士ノ如ク話ヲ能ク噛ミ碎イテ申上ゲルノニ慣レテ居リマセヌ、是ハ東郷サンモ米穀調査會ニ於テ御承知ノコト、思ヒマス、此人ヲ呼ンデ御聽キニナレバ非常ニ能ク諒解ヲスルデアラウト御考ニナッテ、只今東郷サンカラ御呼出シニナッタカト存ジマスガ、寧ろ安藤場長ヲ呼ビマシタ方ガ御諒解

○石黒政府委員 先般ノ米買上ノ時ニ非常ニ無理ヲ致シマシタノデ三十九度カラノ熱ヲ出シテ休ンデ居リマス、ソレトモウ一ツ申上ゲテ置キタイコトハ新井技師ハ安藤博士ノ如ク話ヲ能ク噛ミ碎イテ申上ゲルノニ慣レテ居リマセヌ、是ハ東郷サンモ米穀調査會ニ於テ御承知ノコト、思ヒマス、此人ヲ呼ンデ御聽キニナレバ非常ニ能ク諒解ヲスルデアラウト御考ニナッテ、只今東郷サンカラ御呼出シニナッタカト存ジマスガ、寧ろ安藤場長ヲ呼ビマシタ方ガ御諒解

○胎中委員 ヤハリ其コトデ此場合一言申上ゲテ政府當局ノ御考慮ヲ煩シタ

○東委員 御病氣デマダ出席ガ出來ヌト云フコトデアリマス、ソレデ安藤君ノ説明ヲ聽イタガ、誰モ分ラナカッタ、安藤君ニモ亦質問シタケレドモ、安藤君モ答辯ノ出來ナイコトガ澤山アッタ、ソレカラ安藤君個人トシテハ此率勢米價ニ反對ダ、斯ウ言フ、ソレダカラ吾々ハ何處ニ取付ク島モナイ、何ヲ基準トシテ議論ヲ進メテ宜イカ一向分ラナイ、安藤君ノ意見ハ直接ニハ聽キマセヌガ、率勢米價デヤルト云フコトハ安藤君個人トシテハ反對ノ意見ヲ持ッテ居ルト云フコトハ度々私モ聞イテ居ル、斯ウ云フ人ガ此處ニ來テ説明シテモ、本當ノ事ハ言ヘナイト云フコトヲ吾々ハ懸念スルカラ、寧ろ新井技師ガ來テ吾々ニ説明ヲシテ下サレバ大變結構デアルト云フ考デ申シタノデアリマス

○胎中委員 ヤハリ其コトデ此場合一言申上ゲテ政府當局ノ御考慮ヲ煩シタ

○胎中委員 ヤハリ其コトデ此場合一言申上ゲテ政府當局ノ御考慮ヲ煩シタ

○胎中委員 ヤハリ其コトデ此場合一言申上ゲテ政府當局ノ御考慮ヲ煩シタ

○胎中委員 ヤハリ其コトデ此場合一言申上ゲテ政府當局ノ御考慮ヲ煩シタ

○胎中委員 ヤハリ其コトデ此場合一言申上ゲテ政府當局ノ御考慮ヲ煩シタ

○胎中委員 ヤハリ其コトデ此場合一言申上ゲテ政府當局ノ御考慮ヲ煩シタ

○胎中委員 ヤハリ其コトデ此場合一言申上ゲテ政府當局ノ御考慮ヲ煩シタ

○胎中委員 ヤハリ其コトデ此場合一言申上ゲテ政府當局ノ御考慮ヲ煩シタ

○胎中委員 ヤハリ其コトデ此場合一言申上ゲテ政府當局ノ御考慮ヲ煩シタ

○胎中委員 ヤハリ其コトデ此場合一言申上ゲテ政府當局ノ御考慮ヲ煩シタ

○胎中委員 ヤハリ其コトデ此場合一言申上ゲテ政府當局ノ御考慮ヲ煩シタ

○胎中委員 ヤハリ其コトデ此場合一言申上ゲテ政府當局ノ御考慮ヲ煩シタ

○胎中委員 ヤハリ其コトデ此場合一言申上ゲテ政府當局ノ御考慮ヲ煩シタ

○胎中委員 ヤハリ其コトデ此場合一言申上ゲテ政府當局ノ御考慮ヲ煩シタ

○胎中委員 ヤハリ其コトデ此場合一言申上ゲテ政府當局ノ御考慮ヲ煩シタ

○胎中委員 ヤハリ其コトデ此場合一言申上ゲテ政府當局ノ御考慮ヲ煩シタ

○胎中委員 ヤハリ其コトデ此場合一言申上ゲテ政府當局ノ御考慮ヲ煩シタ

○胎中委員 ヤハリ其コトデ此場合一言申上ゲテ政府當局ノ御考慮ヲ煩シタ

○胎中委員 ヤハリ其コトデ此場合一言申上ゲテ政府當局ノ御考慮ヲ煩シタ

○胎中委員 ヤハリ其コトデ此場合一言申上ゲテ政府當局ノ御考慮ヲ煩シタ

○胎中委員 ヤハリ其コトデ此場合一言申上ゲテ政府當局ノ御考慮ヲ煩シタ

○胎中委員 ヤハリ其コトデ此場合一言申上ゲテ政府當局ノ御考慮ヲ煩シタ

○胎中委員 ヤハリ其コトデ此場合一言申上ゲテ政府當局ノ御考慮ヲ煩シタ

憎マレロ言フ意味デハナイガ、ソレヲ豫メ斷テ置キマス、若シ私ノ言フコトガ嘘ダト思フナラバ、此委員ノ中デ、政友會ト言ハズ民政黨ト言ハズ、分ッタト云フ人ガアルナラバ其人カラデモ説明ヲ聽キタイ、吾々ノ能ク得心ノ行クヤウニ話ノ出來ル人ハ恐ラクアルマイト思フ、若シソノナ重大ナル基礎デアル所ノ率勢米價ニ對シテ、ハッキリシタ説明ガ出來ナイト云フコトナラバ、是ハ此審議ヲ離レテモ重大問題ガ起リハセヌカト思フ、デアリマスカラ政府當局ニ於テモ此點ハ特ニ御考慮ナサツテ、何卒吾々ノ得心ノ行クヤウニ説明ノ出來ル人ヲ拉シ來ッテ、十分説明サセルヤウニ御願致シマス

○山田政府委員 私ガ出シヤバツテハ恐縮デアリマスガ、私ハ素人デアリマシテ、數學ノ知識ハ皆様ノ程度以上ニハ無いノデアリマスカラ私ハ最小自乘法ガ分ルナント云フ生意氣ナコトハ申シマセス、併シ最小自乘法ニ依ッテヤレバ斯ウ云フモノガ出ルト云フコトダケハ私ニモ分リマス、ソレヲ皆様ニ御分リニナルヤウニ説明シ得ルダケノ能力ガ私ニアルヤ否ヤト云フコトハ、是ハ説明シテ見ナケレバ分リマセヌ、是ハ別デアリマスガ、若シ數學ノムヅカシイコトガ分ラナケレバ贊成ガ出來ヌト云フナラ、私ノ心持ヲ以テ申シマス

ト、自作農維持創定ノ貸金ヲ致シマシテ、ソレヲ年賦デ取ルノデモ、アレハムヅカシイ數學ガ要ルサウデアリマス、併シ其算定ハ確カナモノト認メテ居ル、又吾々ガ保險ヲ掛ケルノニモ、死亡率ノ算定ニハ高等數學ガ要ル、是ハ同ジヤウナコトニ考ヘテ居リマス、ソレデアルカラ最小二乘法ノ説明ヲスルコトハムヅカシイケレドモ、之ヲ作リ上ゲタ政府委員カラ申上ゲタナラバ、心配ナク一通リハ吞込メルコト、思ヒマス、其點ハ御安心ヲ願ッテ宜カラウト思ヒマス

○東郷委員 只今山田政府委員カラノ御話デアリマスガ、私達ハ所謂最小二乘法ヲ利用シテ斯ウ云フモノガ出ルノダト云フ、其ヤリ方ハ質問スレバ是分リマス、此間カラ言フヤウニ、ソレハドウスルカト云フト、率勢米價ヲ出スニハ、一般物價指數ト米價指數ノ比率ヲ出ス、是ガ米價率デアル、而シテ此米價率ガ直線ノニ行クノダト云フコトヲ認定シタ、此直線ノニ行クコトヲ認定スレバソコニ最小二乘法ノ應用ガ生レル、サウシテソコニ所謂米價ノ趨勢値カ生レル、其趨勢値ガ出ルト、今度ハ今月ノ率勢米價ヲ出スニハ前月ノ一般物價指數ニソレヲ掛ケル、サウシテ三十三年ノ基準米價十一圓八十一錢デシタカヲソレニ掛ケレバ宜イ、ソレハ山田參與

官カラ御聞シナクテモ、私共ハ能ク諒解シテ居ルガ、其基礎ヲ解セト、認定スルト言ッタ所ガ分リマセヌ、此間安藤博士モ見エテ居リマシタガ、説明ヲ聽キマス、マダハッキリシテ居ナイ、ソコデ質問ヲ保留シテアルノデアリマス、ソレハ其程度ニシテ置キマスガ、更ニ山田政府委員ハ、分ラヌデモ宜イデヤナイカ、自作農創定ノ際ノ低利資金ノ計算デモ分ッテ居ヤシナイ、或ハ保險ヲ掛ケルニモ、死亡率モ分ッテ居ナイガ默ッテ居ルデハナイカト言ハレマスガ、ソレハ其通りデ宜イデアリマセウ、何故ナラバ、假令保險ノ死亡率ガ分ッテ居ナクテモ、保險ヲ掛ケルノハ吾々ノ自由デアアル、何處ノ保險會社ガ信用ガアルカナイカヲ見テ、ソレガ分レバ、此方ノ自由意思デ保險ヲ掛ケルノデアアルガ、是ハ違ヒマス、日本ノ米價ヲ自然ニ放任シテ置イテハイケナイ、國家全體ノ、生産者消費者ノ立場カラ見テ、ドウシテモ人爲的ニ調節シナケレバナラス、米穀法ガ大正十年ニ出來タガ、此出動ノ所謂基準ヲ決メルコトガ必要デアアル、其基準ヲ法律デ決メルコトニ依ッテ、米價ガ或ル程度ニ安定サレル譯デアリマスカラ、其結果或ハ生産者ヲ擁護スル意味デ行クノデスケレドモ、場合ニ依テハサウ行カヌ場合ガアル、又消費者タル一般國民ノ生活ヲ壓迫シナ

イ積リデアルケレドモ、必ズシモサウデナイ場合ガ出ルカモ知レナイ、即チ吾々生存ノ權能ト云フモノヲ法律デ抑ヘテ行クト云フヤウナ重大問題デアリマスカラ、其基礎ニナルベキ法律、又其基準ニナルベキ算定方法ガ、吾々委員ニ分ラヌデ、國家ヲ信賴シテ行クヨリ仕方ガナイト云フノデハイケナイ、斯ウ云フコトハ國民ヲ相手ニスル以上ハ、成ベク大衆ニ分ルヤウナ平易ナモノデ行クコトガ必要デアルト思フ、幾ラムヅカシクテモ宜イガ、ムヅカシイ方法ヲ利用スルナラバ、吾々ニ分ルヤウニナラナケレバナラス、併シ幾ラ數學者ノ説明ヲ聽イテモ分ラナケレバ、國家ノ機關ヲ信用スルヨリ外ニ仕方ガナイ、私ハサウ思フカラ質問ヲ保留シテアル、モウ一遍専門家ノ意見ヲ聽キ、尙ホソレデ分ラナツカ場合ニハ、モット權威者ノ意見ヲ聽イテ見タイ、過日石黒政府委員ニ話シタ所ガ、土方君ト沙見君ニ相談シタトノコトデアリマス、土方、沙見ノ兩君ハ、成程立派ナ經濟ヤ統計ノ學者デアアル、左様ナ方面ニ於テノ學者デアアルガ、是ハ應用方面ノ學者デアツテ、數學ノ最高權威者デハナイ、ソコデ吾々素人ニハ疑問ガアツテ納得ガ出來ナイガ、國家ノ機關ヲ信賴シテ行クト云フナラバ、其方面ノ最高權威者ヲ連レテ來テ説明サセルナリ

シナケレバナラヌ、是ハ吾々ガ責任ヲ以テ引受ケルノデアルカラ安心シテ宜カラウト云フモノデハナイ、保險ノ死亡率算定ナドトハ、事柄ガ自ラ異ルノデアル、ソコデ私ハ、先程モ率勢米價ノ問題ニ付テハ、其基礎ニナルコトガ分ラナイカラ、吾々ガ納得ノ行クヤウニ然ルベキ權威者ガ出テ説明シテ欲シイト云フコトデ質問ヲ保留シテ置イタルデアリマス、是ハ山田君ノ仰シヤルコト、ハ非常ニ性質ノ違フモノデアリマスカラ、慎重ニ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス

○町田國務大臣 私ガ申上ゲテモ、算法ノ事ハ御了解ヲ得ルコトガ出來ナイト思ヒマス、私モ曾テ學校時代ニ微分積分ヲヤッタノデアリマスガ、最小二乘法ノコトハ能ク分リマセヌ、併シンレハ天下ニ於テ認メラレタ算法デアリマスカラ、之ガ眞否ト云フコトニ付テハ研究ノ餘地ナキモノト思ヒマス、唯問題ハ最小二乘法ヲ用ヒタノハ、想像ノ直線ヲ描キ出スコトニ付テ最小二乘法ガ必要デアルト云フコトニ止マルノデ、要ハ既往三十年間ノ物價ノ指數、米價ノ指數ニ依ッテ見レバ、所謂此間ニ相當米價ニ「ウエイ」ヲ加ヘテアル、其中ニ先刻農務局長ノ言ハレタ生産費モ相當含マレテ居ル、而シテ何等基準ガナクシテ行クヨリモ、法律上ノ

米穀法出動ノ場合ノ算定方ハ、率勢米價ニ依ッテ行クコトハ、既往三十年ノ經驗ニ徴シテ宜シイモノデアアル、而モ急イデ生産費、生計費ヲ調査スルガ、其調査ノ間ハ、何等標準ガナクシテ出動スルヨリモ、暫クノ間ニ是行カウト云フ意味ニ於テ御了解ヲ願ヒタイト思ヒマス、唯最小二乘法デアレバ、直線式ニ依ッテ得ラレル推定シタル米價ノ趨勢値ガ生レテ、之ニハ生産費モ自カラ含蓄サレテ居ル、斯ウ云フ次第デアリマス

○東郷委員 只今農林大臣ノ御説明デアリマスガ、最小二乘法ヲ適用スル計算ノ細カイ事ハ、吾々ハ必シモ之ヲ了解シナイデモ宜イカモ知レナイガ、其前ニ疑問ガアル、ソレハ御配付ニナッタ印刷物デアリマスガ、此間モ質問シテ途中ニ於テ行詰ッタノデアリマス、今米價率ヲ御出シニナッテ、ソレデ米ノ獨特ノ原因ニ依ル變動ト云フモノガ分ッテ來ル、其變動ヲ均シテ見レバ、米價率ト云フモノハ一定ノ傾向ヲ以テ直線的ニ年ト共ニ進ムモノデアルト認メラレル、其根據ガドウデアアルカ、此處ニ非常ナ私共疑問ガアル、事實又之ニ付テ疑問ヲ持ッテ居ル人モアルヤウデスカラ、私共分ラヌカラ御尋ネシタ譯デス、ソレデ直線的ニ進ムモノダト認メルト、初メテ其處ニ最小二乘法ヲ利用

シテ、何カ算出スルコトガ適當デアルト云フコトニナリマス、サウシテ最小二乘法ヲ利用シテ、其處ニ趨勢値ト云フモノガ出ルノダ、斯ウ云フノデアリマスカラ、其處ノ直線的ダト云フコトヲ御認メニナッタ根據ガ分ラナイ、ソレヲ此間安藤君ニモ御尋シタノデアリマスガ、安藤君ノ説明デハ、マダ吾々能ク了解ガ出來ナイカラ、此質問ハ其儘保留シテアル、斯ウ云フ譯デス、デスカラドウモ其處ノ所ニ甚ダ分ラヌ所ガアルノデス

○松山常次郎君 議事進行ニ付テ一言

○本田委員長 宜シウゴザイマス

○松山常次郎君 今此最小二乘法ノ問題ガ出テ居ルノデスガ、實ハ私ハ此率勢米價ノ事ヲ今マデ研究シテ居ラナカッタノデアリマス、今之ヲ見テ少シヤリ掛ケテ居ルノデアリマス、是カラ研究シタイト思フノデアリマスガ、私ハ少シ數學ノコトハ勉強シテ來タ者デゴザイマシテ、幾分分ルノデアリマスガ、山田參與官ノ言ハレタコトハ、此場合ニ一寸モ當ラナイノデアリマス、曩ニ言ハレタ保險ナンカノ金ヲ出シテ居ルノハ年金算デスカラ、複雑ナ公式ニ關係ガアルケレドモ、數學上誰ガ計算シテモ動カザル所デアアル、ケレドモ最小二乘法ト云フコトハ、高等數學ノ

中ノ——人間ノヤルコトニハ色々誤差ガアル、其誤差ノ、平均シテ一番少イノヲ取ルノガ、即チ最小二乘法ニ依レバ比較的其少イ所ヲ得ラレル、多クノ實例ニ依ッテモ當ルト云フ數學上ノ假定ニ過ギナイノデアアル、年金算ト云フノハ、敢テ當ラナイノデス、今私ガ此處デ議事進行ニ付テ述べサシテ戴クトハ——大臣ガ言ハレタコトモ、學理上カラ言ッテ説明ニナッテ居リマセヌ、最小二乘法カラ直線的ニ出スト云フコトハソナモノデハナイ、是ハ此儘デ多數決ナンカデ定メテシマハナイデ、ドウゾ斯道ノ方ニ御説明モ願フシ、是ハ學問上ノ假空ガ實際ニ合ヘバ、ソレヲ使ヘバ宜シイ、先ノ年金算ノヤウナ數學ノ絶對的ノモノデヤナイ、私モ研究サシテ貰ヒマスカラ——今晚研究サシテ貰ヘバ分ルカラ、ドウカ安藤博士ニモ、モウ一度來テ貰ヘバ宜イト思フ、他ノ適當ナル方デモ宜イガ、私モ他ノ同僚ノ諸君モ納得出來ルヤウナ説明ヲシテ貰ヘバ宜イ、今ノ大臣ノ説明ハ當ッテ居リマセヌ、ドウゾサウ云フヤウニシテ、少シ研究サシテ戴キタイト思ヒマス

○山田政府委員 私ハ先刻洵ニ御無禮ナ事ヲ申上ゲマシタガ、松山サンハ數學ノ大家ダサウデ、私甚ダ申譯ナイ事ヲ申シマシタ

○西村委員長 ソレデハ皆様ニ申上ゲ
マスガ、七時半マデ休憩致シマス
午後六時二十五分休憩

午後七時五十分開議

○西村委員長 休憩前ニ引續イテ會議
ヲ開キマス、ドウ致シマセウカ、今率
勢米價ノコトニ付テ御話ガアッタ安藤
農事試験場長ガ出席ニナッテ居リマス、
先ヅ安藤博士カラ説明ヲ求メルコトニ
致シマス、ソレデ宜シウゴザイマス
カ——松山サンニ申上ゲマスガアナタ
カラ御質問ガアッテ御答ヲ願ヒマス
○松山常次郎君 サウ云フコトニ願ヒ
マス、此率勢米價ノ算出方法ニ付テ、
一應御説明ヲ願ヒタイノデアリマス

○安藤農林技師 只今松山サンカラ率
勢米價ノ説明ヲシロト云フコトデアリ
マス、私カラ一通リ申上ゲタイト存ジ
マス、率勢米價ヲドウ云フ風ニ計算ス
ルカ、是ハ率勢米價ノ説明ガアルノデ
アリマスガ、之ヲ御覽下サレバ或ハ御
分リニナルカモ知レマセヌガ、米價率
ヲ明治三十四年度カラ昭和五年度マデ
毎年ノ米價率ヲ見マスト云フト、年々
可ナリ波ヲ打ッテ居ルノデアリマシテ、
其間ニ高低ガ始終アルノデアリマス、
ソレデ此間ニ於テ、米價率ガ年々ドウ云
フ傾向ヲ辿ッテ居ルカト云フコトヲ知
ルコトガ、率勢米價ヲ計算スルニ於テ

一番大事ナコトデゴザイマスルガ、斯
ノ如ク波ノ打ッテ居ルト云フコトハ、其
折ノ米ノ收量ノ豊凶、其他ノ事情ニ依ッ
テ米價率ガ波ヲ打ッテ居ルノデアリマ
ス、趨勢米價ヲ算出シマスニハ、サウ

云フヤウナ、米ノ年ニ依ル豊凶、或ハ
其他ノ事情ニ依ル所ノ波ヲ除外スルト
言フト、或ハ語弊ガアルカモ知レマセ
ヌガ、取除ケマシテ、サウシテ三十四
年カラ昭和五年マデ三十年間ニ於テ、
ドンナ風ニ殖エタカト云フコトヲ見ル
ノデアリマスカラ、サウ云フヤウナ外
ノ事情ヲ取除ケテ、此趨勢米價率ノ傾
向、即チ趨勢米價ヲドウ云フ風ニナッ
テ居ルカト云フコトヲ見ルノデアリマス、
ソレニ付キマシテハ、此曲線ヲ見マス
ト云フト、ドウ云フ形ニナルカ分リニ
クイノデアリマス、甚ダ失禮ナ話デア
リマスガ、此趨勢米價ガ、高等數學ダ
ト云フヤウナ風ニ言ハレタヤウナ關係
ガアッテ、非常ニムヅカシイヤウニモ御
考ヘニナラレタ方モアルヤウデアリマ
スケレドモ、假ニ——今御配リシタコ
ト、思フノデアリマスガ、此波ノ高イ
所ト低イ所ニ中心ヲ取ッテ見レバ、是ヨ
リモ、モウ少シ波ノ形ハ低クナッテ來ル
ノデアリマス、併ナガラ波ノ形ガ尙ホ上
テ居ルノハ、今申上ゲタヤウニ色々ナ
豊凶其他ノ影響モマダ殘ッテ居ルノデア
リマス、ソレヲスツカリ除外シテシマッ

テ、サウシテドウ云フ趨勢ヲ取ルカト
云フコトヲ見ナケレバナラヌノデアリ
マス、是ハ其趨勢値ヲ見ルコトガ——
一體米價率ト云フモノハ斯ウ云フ理論
ニ依ッテ上ツタリ下ツタリスルモノダト
云フ、所謂理論的ノ、ソコニ根據ガア
レバ、ソレニ依ル「フオミユラー」ニ

依ッテ計算ガ出來ルノデアリマスガ、御
承知ノ通り斯ウ云フ私共ノ始終取扱ッ
テ居リマス色々ナコトニ付テハ、實驗
ヲシタ吾々ガ、實驗或ハ實際ニアッタ觀
測ト云ヒマス、斯ウ云フヤウナ數字
ニ依ッテ得タル曲線、所謂實驗的ノ「フ
オミユラー」ト云ヒマス、趨勢ヲキ
メルト云フコトニナル、ソレ等ノ點ニ
付キマシテ、ソレデハドウ云フ風ナ線
ニ考ヘルノガ一番宜イカ、是ハ學問的
ノ立場カラ申シマスレバ、一ツダト云
フ斷定ハ出來ニクイト思ヒマス、人ニ
依ッテ多少考モ違フノデアリマスガ、併
ナガラ假ニ色々ナ線ヲ想像シテ見マシ
テモ、其色々ノ線ノ中デ、ドレガ最モ
趨勢ヲ見ルニ適當シテ居ルカト云フコ
トハ、當然サウ云フ風ニシテ拵エタ線
ト實際ノ値トノ誤差ガ成ベク少ナイモ
ト、計算スレバ最小自乘法ニ依ッテ、誤
差ノ自乗ノ總和ガ最モ少ナイモノガ一
番趨勢値ニ合フ筈デアリマスカラ、ソ
レモ採ラナケレバナラヌ、ソレヲ採リ
マスレバ、一ツノ線デナシニ、二ツ三

ツナリノ線ヲ比較スルコトモ出來マス、
同時ニ私自身ノ考ヘマスニハ、斯ウ云
フ法律ニナルヤウナ場合ニハ、誰デモ
分リ易イ、又直グ計算ガ出來ル簡單ナ
モノガ最モ必要デアルト云フコトモ一
ツノ條件デアラウト思フノデアリマス、
ソレ等ノ點デ計算ヲシテ、私自身ガ前
ニ計算シタ折ニモ、直線ト考ヘ、或ハ
複利算的ニ考ヘルコトモ必シモ無理デ
ナイト云フコトモ言ヘルカモ知レマセ
ヌ、兩方ヤッテ見ルト、直線ノ方ガ複利

的ニヤッタヨリモ、趨勢値ヲ現ハスノニ
ヨリ適當デアアル、即チ直線ト實際ノ値
トノ誤差ノ自乗ガ其方ガ少ナイト云フ
事柄ヲ自分ガ見タノデアリマス、ソレ
等ノ點カラ考ヘマスレバ、之ヲ直線の
ニ見ルト云フコトガ、私ハ最モ妥當ト
信ズル、即チ直線トシテ認定スルコト
ガ私ハ妥當ダト信ジテ居ルノデアリマ
ス、ソレ等ノ計算ヲ如何ニシテ出スカ
ト云フコトニ付キマシテハ、是ハ御承
知ノ如ク最小自乘法ニ依ッテ其式ヲ出
スノデアリマス、最小自乘法ヲ使ッタコ
トハ、此直線ヲ出スノニ必要ナ基礎ノ
數字ト、ソレカラ年々殖エテ行ク率ヲ
ハッキリシタ數ヲ出ス爲ニ最小自乘法
ヲ用ヒタノデアリマス、最小自乘法ハ
即チ此直線式ヲ出ス方法トシテ使ハレ
タト云フニ過ギナイト思フノデアリマ
ス

○松山委員

尙ホ御尋致シタイト思ヒマスルガ、此最小自乘法ニ依ッテ算出セラレタト云フコトハ、是ハ學者トシテ一ノ見方デ、勿論此最小自乘法ト云フモノハ絶對的デナイ、彼ノ數學上ノ絶對的ノ眞理デヤナイノデアリマシテ、或ル場合ニ於テハ之ヲ使フナラバ一番實際ニ近イモノガ得ラレル、斯ウ云フ意味ノモノデアリマシテ、ソレガ多クノ實驗ト合シテ、其結果先ヅ是ガ一番宜カラウトシテ學者ガ公式ノ作ッテ來ターノ方法ニ過ギヌノデアリマス、ソコデ是ハ實驗ノ結果ト引合ハシテ、ソレガ吾々ガ實際ノ米價——私共國民生活ニ、農村生活ニ非常ナ關係ノアル此米價ヲ算定スルニ實際ノ問題トシテ、ソレデ耐ヘ得ルカト云フコトヲ、是ハ實際ノ實驗ノ結果、色々澤山ノ經驗ニ依ッテ試驗ヲシタ結果、先ヅ是ナラ官カラウト云フコトヲ認定シテ、始メテ茲ニ公式ト云フモノガ定マルノデ、是ハ他ノ數學ノ式、普通ノ詰リ實驗式ヲ作り出ス一ノ方法ニ過ギナイノデアリマシテ、是デ宜シイカドウカト云フコトヲ私共ガ判定ヲシマスルニ付テハ、私自身モ家ニ歸テ——是ハ今日始メテ見マシタノデ能ク分ラナイノデアリマスガ、歸ッテ一度是ハ今晚カ明日算定ガ出來マセウカラ、私自身モ研究致シテ見マス、併シアナタノ方

デモ御研究シタノガアルダラウト思フ、例ヘバ明治三十三年ガ基準ニナッテ居ルナラバ、四十年ノモノハドウナルカ、昭和三年度ノモノハ實際ト、是カラ算定シタモノハドウ云フ差ニナルカト云フヤウナコトヲ、是ガ實際ニ引合セ、實際ニ當嵌マラシテ、ドレダケノ差異ガアルカラ、此位ナラバ宜カラウト判定スル、故ニ實際計算ヲナサレタ結果ガアリマスナラバ、私共ガ之ヲ判斷スル上ニ於テ非常ニ參考ニナラウト思ヒマス、ソレガ御研究ニナッテ居ナイト云フナラバ、今晚私ガ歸リマシテ計算ヲシテ、此式ノ價值ヲ私自身實驗シテ見タイト思ヒマス、其事ガ若シ御研究ニナッテ居リマスルナラバ、ソレヲ一ツ御説明ヲ願ヒタイ、ソレハ私共此式ノ價值ヲ判定スル上ノ參考ニナルノデアリマス、ソレカラ此間安藤サンガ御説明ニナッテ居ルコトヲマダ實ハ私能ク讀ンデ居リマセヌ、之ヲ一寸讀ンデ見タイト思フノデアリマスルガ、ソレ等ノコトニ付テ、私共之ヲ判斷ヲ致シマスルニ付テ、實驗ノ結果率勢米價デ計算スレバ三十圓ニナルガ、其年ノ實際ノ價格ハ三十三圓デアル、或ハ率勢米價カラ算定スレバ二十五圓ニナルガ其時ニハ二十二圓デアル、斯ウ云フヤウナ差ガ其處ニ實際ニ出テ來ルダラウト思フ、其コトニ付テ色々御研究

ニナッタコトガゴザイマスルナラバ聞カシテ載ケバ、私共參考ニナルト思フノデアリマス

○石黒政府委員 唯今ノ松山サンノ御尋ニナッタ點ニ、御參考ニナリマセウト存ジマスガ、次ノ方ニ「率勢米價上値二割下値二割ヲ超エタル事例」ト云フ刷物ガ差上ゲテアリマス、ソレカラ「率勢米價ノ説明」ト云フノニ、其當時ノ率勢米價ト實際ノ米價トノ數字ヲ比較シタノガズット三十七年以來ノガ掲ゲテアリマス、是等ハ御參考ニナルカト思ヒマス

○松山委員 分リマシタ、實ハ此公式ヲ今マデ頂戴シナツカタノデ、私ハ此意味ニ於テ研究シテナツカタガ、之ヲ頂戴スレバ大體判斷スルコトガ出來マス、今石黒農務局長カラ御話下スツヤウナ數字ガアリマスレバ、之ニ依ッテ一ツ研究致シタイト思ヒマス、ソレデ之ニ付テ私共ガ此公式ノ價值ヲ判斷スルニ付テノ基礎ノコトハ大體是デ分リマシタ、併シ私自身トスレバ、之ガ果シテ適當デアルカナイカト云フコトハ、モウ少シ研究致シテ見タイト思ヒマス、私ノ質問ハ、是デ打切りタイト思ヒマサガ、ドウカ此問題ニ對スル質問ハマダ打切りナイデ、明日ナリ又二十八日マデ質問ガアルサウデアリマスカラ、ドウカ其質問ハ保留致シテ頂キタイト思フ

○西村委員長 東郷サンアナタ御質問ナツサテハ如何デスカ、折角農事試驗場長ガ御出席ニナッテ居ルノデスカラ……

○東郷委員 私ハ此間安藤博士ニ御伺シテ、今ト同ジヤウナ説明ヲ聞イテ居リマスカラ、是ダケノ範圍ナラバ別ニアリマセヌ、松山君モ言ハル、如ク、何ト云ヒマスカ、認定其他ガハツキリ分ラナイ、ソレガ正シイカ正シクナイカ、ソレニハ議論ガアルヤウデスカ、私ハ安藤サンニハ御伺スルコトハモウアリマセヌ、ソレ以上ニハ……

○西村委員長 安藤サンノ御話デ御満足ニナッテ居ル譯デスカ

○東郷委員 満足ハシテ居リマセヌ

○西村委員長 御不満ノ點ガアリマシタラ御聞キニナッテハ如何デスカ

○東郷委員 分リマセヌガ、今ノ問題ニ付テハ聞カナクテモ宜イノデス

○町田國務大臣 安藤君ヲ屢々煩スノモ御氣ノ毒デアリマスガ、松山君ガ御研究ニナッテ、アナタガ御研究ニナッタ時ニ、モウ一度安藤博士ノ御出デヲ願フタ方ガ議事ノ進行上官シクアリハセヌカト、私トシテハ考ヘマス

○松山委員 結構デアリマスルガ、安藤博士ヲ煩サナクテモ、之ヲ頂戴シテ居レバ、ソレガ分ルノデス、之ヲ讀ンデモ中々分リ難イガ、私ハ大體自分デ

斯ウ云フ公式ヲ考ヘテ居ッタノデス、之ヲ下サレバ分ッテ居ッタノデアリマスガ、私共ハ是デ實際ノ價值ヲ私自身ガ考慮シタ上デ判斷シナケレバナラヌ、私ガ研究シテ、必要ガアリマシタナラバ、後デ又煩スカモ知レマセヌガ、當分ハ煩サナクテモ私共ノ判斷ガ出來ヤウト思ヒマスカラ、私ノ質問ハ是デ打ちリマス

○東郷委員 今申上ゲマスヤウニ、私ハ素人デスカラ分リマセヌガ、幸ヒ松山委員ガ其方ノ玄人ノヤウデスカラ、御研究下サツテ、之ニ依ッテ吾々モ諒解スルコトガ出來レバ非常ニ好イト思ヒマス、私ハ此間モ聞キマシタカラ、是レ以上安藤サンニ御聞キスルコトハアリマセヌ、併シ是デ分ッタモノト仰シヤラレルト困ル、マダ分ラナイノデスカラソレハ將來ニ……

○西村委員長 ソレデハ此問題ハ是デ御保留下サイマシテ、成ベク東郷サンノ御質問ノ今晚終了スルマデ此會ヲ繼續シタイト思ヒマス

○胎中委員 兎ニ角今安藤サンノ御話ガアツテ、松山君ガ研究シテ來ルト言ヒマスカラ、是ハ是デ保留スルコトニハナツテ居リマスガ、明日午後ノ開會マデニ、松山君ガ若シ調ガ出來レバ此問題ノ非常ニ都合好ク進ム端緒ニナラウト思ヒマスシ、隨テ今夜ハ此程度ニヤメ

テ置イテ、サウシテ明日開會下サルコトニシテ散會サレテハ如何デセウカ
○西村委員長 今ノ胎中君ノ御意見ニ皆様御異議アリマセヌカ
○關矢委員 ドウデセウ、モウ少シ御質問ガアル筈ダト聞イテ居リマスノデスガ、繼續ナスツテオヤリ下サツテハ如何デス

○東郷委員 私マダ終了致シテ居リマセヌ、モウ少シアリマス、併シソレハ私今日冒頭ニ申上ゲマシタヤウニ、今ノ問題ニ疑問ガアツテ、ソレハマダ其儘ニ保留シテ置イテ、併シソレガ現在政府ガ御示シニナツテ居ルコトガ其通りダト云フコトニシテ假定ノ下ニ質問ヲ續ケテ行ッテ見タイト斯ウ言ッテ居ルノデスカラ、偶々安藤博士ガ御見エ下サツテ説明サレテ、松山委員ガ研究サレテ、其處ニ又吾々ノ分ルヤウナ何力途ガ開ケレバ、ソレヲ御聞シタ方ガ、私ノ假定ノ下ニ質問ヲ進メルヨリモ宜イカト思ヒマス、或ハソレガ分レバ私ノ質問ハ省略スル所ガアルカモ知レマセヌカラ、却ッテ今晚御散會ニナツテ、明日ノ模様デ繼續シテ頂イタ方ガ都合ガ宜カラウト思フ、若シ明日松山君ガ研究サレテモ、尙ホ進マナイヤウナ場合ニハ已ムヲ得マセヌ、假定ノ下ニ私ガ進メテモ宜シウゴザイマスクレドモ、今晚ハ其程度デ御願シタ方ガ却ッテ議事進

行ノ上ガ宜カラウト思ヒマス
○西村委員長 胎中サン、東郷サンカラ、云フ御意見ガアリマスガ、關矢サン如何デスカ
○關矢委員 ドウデスネ、若シ東郷サンノ御質問ハ其程度デ今晚ハ御進ミガ出來ナイト云フナラバ、私ハ強イテ申サナイガ、他ニモ澤山御質問ヲ御通告ニナツテ居リマスシ、時間ノ許ス範圍ニドウゾ……ソレニ夕飯モ食ッチャッタノデスカラ、ドナタカ代ッテ新シイ質問デモ少シ御ヤリニナツテハ如何デスカ

○胎中委員 強イテサウ言ハレ、バ次ノ順序ハ私デスカラ、私カラ質問シテモ宜イガ、サウ云フ風ニスルト云フコトハ、豫テ吾々話シテ居ル議事ノ進行ノ上カラ言ウテモ、私ハ宜クアルマイト思フ、質問スレバ宜イト云フノナラバ、吾々モマダ質問ヲ十分ニスルヤウナ考モノナケレバナラヌ、私共ハサウ云フ風ニ考ヘテ居ナイ、吾々委員ハ今日モ十時頃ニ寄合ッテ、成ベク重複シナイヤウニシテ、皆ガ質問シテ早く終フヤウニト云フ位マデ話ヲシテ居ルノデアルカラ、却ッテサウ無理ニセヌ方ガ、議事進行ガ出來ルト思ヒマス、私共ハ其意味デ全ク心カラ此委員會ノ進行ヲ期シテ居ルノデアルカラ、ドウカソレデ御考慮ヲ願ッテ、委員長ニ於テ然ルベク御取計ヒヲ願ヒマス

○西村委員長 關矢サン、此程度デ今日ハ散會シテ、又明日……
○關矢委員 私ハ異議ハアリマセヌ
○西村委員長 ソレデハ胎中サン東郷サンカラサウ云フ御希望ガアリマスカラ、今日ハ是デ散會シテ、明日午後一時カラ開會致シマス
午後八時十五分散會

昭和六年二月二十五日印刷

昭和六年二月二十六日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社